ETX-VR

取扱説明書

M-MANU200288-01

もくじ

必ずお守りください ……3
使用上の注意 ……8

本製品を使ってインターネットに接続するまでの手順

使う前に……9
箱の中を確認する……10
動作環境を確認する……12
各部の名前とはたらき ……14

設定準備をする……17
①本製品を設置し、電源を入れる……18
②設定画面を開く……21

インターネットに接続する……23
インターネットに接続する……24
Aタイプ：「PPPoE認証接続」の場合 ……26
Bタイプ：「IPアドレス自動取得接続」の場合 ……31
Cタイプ：「IPアドレス固定設定接続」の場合 ……33

必要なときに読むところ

他の設定をする ····· 35

ステータス ····· 36

LAN ····· 41

インターネット ····· 42

- 接続設定 ····· 42
- オプション設定 ····· 48
- ダイナミックDNS ····· 49
- DMZ ····· 52

セキュリティ ····· 53

- 管理者設定 ····· 53
- ファイアウォール ····· 54
- サービス ····· 61
- ログ ····· 63
- 詳細設定 ····· 66

VPN(ETX-VR) ····· 67

- ポリシー ····· 67
- ステータス ····· 72

PPTP VPN ····· 73

- サーバー ····· 73
- ユーザー ····· 74
- PPTPを利用した接続を行う場合のPC設定方法 ····· 75
- ステータス ····· 79

その他 ····· 80

- PCデータベース ····· 80
- ルーティング ····· 85
- UPnP ····· 88
- 外部からの設定 ····· 89
- 設定の管理 ····· 91
- ファームウェア更新 ····· 92

その他 …… 93
出荷時設定に戻す …… 94
困ったときには …… 95
仕様 …… 114
アフターサービス …… 116

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告及び注意表示

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）  「発火注意」を表す絵表示

⊘

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）  「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）  「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、正しい手順で使用してください。
警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。
また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあります。ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。


分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。
火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。


電源プラグを抜く

煙がでたり変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。
●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。
指定品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
●ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。


厳守

本製品の取り付け、取り外し、移動の際は、本製品の取扱説明書をご確認になり、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントからプラグを抜いてから行ってください。
電源コードを抜かずに行うと、感電および故障の原因となります。


禁止

給電されているLANケーブルは絶対に接続しないでください。
給電されているケーブルを接続すると、発煙したり、火災の原因になります。


水ぬれ禁止

本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使用しないでください。
お風呂場、降雨降雪中の屋外、海岸、水辺などでの使用は火災・感電・故障の原因となります。


禁止

故障や異常のまま、通電しないでください。
本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外し、コンセントから電源プラグを抜いてください。また、絶対に通電をしないでください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。


禁止

日本国外で使用できません。


厳守

本製品は安定した場所に設置してください。
ぐらついた台の上や傾いたところには置かないでください。
落ちたり、倒れたりして事故の原因となります。水平なところに置いてください。


禁止

本製品同士や他の機器を重ねて使用しないでください。
高温になり、故障の原因となる場合があります。

ACアダプターについて


厳守

ACアダプターの取り扱いは以下のことにご注意ください。
火災・感電の原因となります。


感電注意

●ACアダプターを使用する際は、必ず添付のACアダプターもしくは指定のACアダプターを使用してください。
●ACアダプターの上にものをのせたり、かぶせたり、重ねたりしないでください。高温になる危険があります。
●ACアダプターを保温・保湿性の高いもの（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）の上ではご使用にならないでください。
●本製品に添付のACアダプターは、AC100V専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。


発火注意

●ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●ACアダプターをコンセントから抜くときは、必ずアダプター部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災・感電・故障の原因となります。
●濡れた手でACアダプターを、コンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。
●ACアダプターがコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコンや本製品に触らないでください。感電の原因となります。
●ACアダプターはほこりが付着していないことを確認し、根本までしっかり差し込んでください。ほこりなどが付着していると接触不良で火災の原因となります。

⚠ 注意



本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
取扱説明書などで、操作方法を確認して操作してください。
また、故障などに備えて定期的にバックアップを行ってください。



本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。
●振動や衝撃の加わる場所　●直射日光のあたる場所　●湿気やホコリが多い場所　●温湿度差の激しい場所　●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーターなど）　●強い磁力・電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカー、ラジオ、無線機など）　●水気の多い場所（台所、浴室など）　●傾いた場所 ●本製品通風孔をふさぐような場所（保管は問題ありません） ●腐食性ガス雰囲気中（CI_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）　●静電気の影響の強い場所●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所（保管は問題ありません）



本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。
●落としたり、衝撃を加えたり、無理な力を加えたりしない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない



本製品のコネクター部分には直接手を触れないでください。
静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。



パソコンから本製品にアクセス中（LEDが点滅中）に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。



ケーブルについて、下記のことにご注意ください。
●ケーブルは足などに引っ掛からないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因となります。
●熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。



壁掛け可能な製品については次にご注意ください。

●取り付ける壁などの材質にご注意ください。

石膏ボードや薄いベニヤ板などでは、ネジやくぎが緩み、本製品が落下する恐れがあります。また、壁の内部に電線・配線などのある場所を避けて設置してください。

●取り付ける場所にご注意ください。

歩行時などに顔や頭などがぶつかり、けがをすることのない場所に設置してください。

使用上の注意

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては十分注意してください。

■使用上の注意

・コネクター部分に金属を差し込まないでください。
・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは高周波の信号により、ノイズを与えることがあります。
・モーターなどノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがありますので、必ず離してお使いください。

■誤接続の注意

INTERNETポート、LANポート、DMZポート（RJ-45）には、適応規格外のケーブル（電話用ケーブル、INSケーブルなど）を差し込まないでください。

■修理について

本製品の修理は弊社修理センターにご依頼ください。
改造などを行って、電気的および機械的特性を変えて使用することは絶対にお止めください。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＡ情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

使う前に

ここでは、本製品を使う前の作業について説明します。

箱の中を確認する

内容物リストを確認します。

▼

10ページ

動作環境を確認する

本製品を使うことができる機種やOSなどを確認します。

▼

12ページ

各部の名前とはたらき

本製品の各部の名前とはたらきを確認します。

14ページ

箱の中を確認する

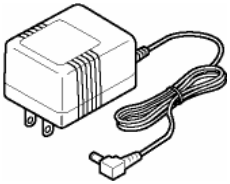
ご使用の前に以下のものがそろっていることを ☐ にチェックをつけながらご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

内容物

☐ ブロードバンドルーター（１台）



☐ ACアダプター（１個）



☐ LANケーブル（１本）

☐ ゴム足4個セット（１式）

☐ ダイナミックDNS/VPN接続設定方法（１枚）

☑ 取扱説明書（１冊：本書）

※2台セット（「ETX-VR モデルA」「ETX-VR モデルB」）に添付のもの

☐ セットアップガイド（１枚）

☐ ハードウェア保証書（１枚）



注意！

■箱や梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
■イラストは若干異なる場合があります。

参考

《ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードについて》

ユーザー登録をする際や、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にS/N(シリアル番号)が必要な場合があります。

S/Nは本製品に貼られているシールに印字されている12桁の英数字です。

（ 例： ABC1234567ZX ）

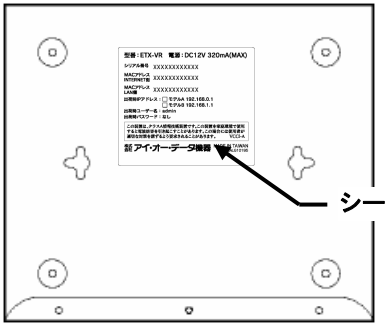
▼S/Nをメモしてください。

●ユーザー登録　⇒ http://www.iodata.jp/regist/

●サポートソフトのダウンロード　⇒ http://www.iodata.jp/lib/

S/Nは、本製品底面に添付されています。

※S/N(シリアル番号)は、本製品にて、ダイナミックDNSサービス「iobb.net」をご利用になる場合にも必要です。



動作環境を確認する

本製品の設定ができるパソコン	
機種	OS（日本語版に限る）
LANアダプターを使用できるDOS/Vマシン ※弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認しています。	・Windows XP ・Windows 2000 ・Windows Me ・Windows 98(Second Edition 含む)



注意！

弊社では、上記の OS でご利用いただく場合のみをサポート/保証範囲とさせていただいております。Mac OS や UNIX 系 OS などでご利用いただく場合はサポート/保証対象外となります。

設定に必要なソフトウェア
Internet Explorer バージョン5.0以上



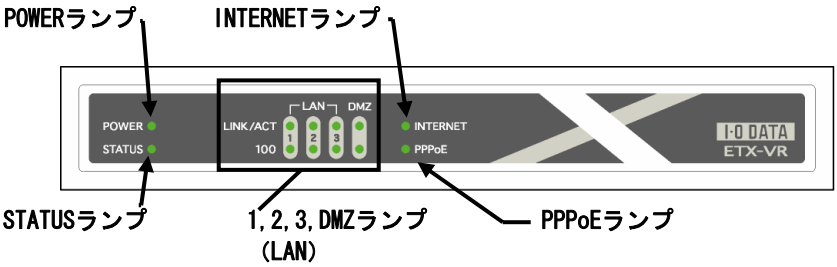
参考

Internet Explorer のバージョン情報は、Internet Explorer 画面の[ヘルプ]→[バージョン情報]で確認できます。

インターネット接続環境の準備、確認 （下記をご用意、ご確認ください。）	
契約	インターネットに接続するには、FTTH/ADSL/CATV（インターネットサービスプロバイダー）との契約が必要です。本製品を使用する前に契約しておいてください。
インターネット接続の確認	**本製品を接続する前に**、パソコンとモデムを直接つないで、インターネットに接続できることをご確認ください。方法について、詳しくはプロバイダーにお問い合わせください。
プロバイダーの資料	本製品を設定する際に、プロバイダーの資料が必要になります。本製品の設定前にご用意ください。

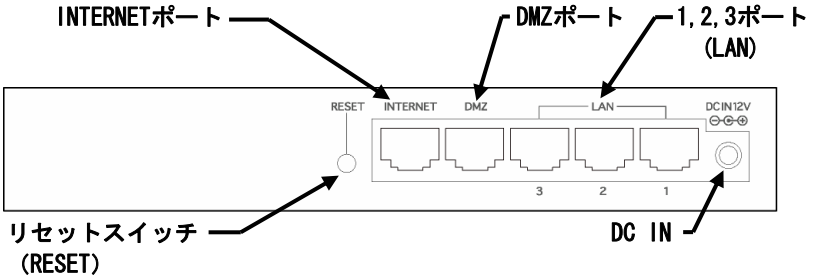
各部の名前とはたらき

■前面



前面			
名前		色	機能
POWER		緑	点灯：電源ON 消灯：電源OFF
STATUS		橙	点灯：エラー時 点滅：起動中（起動後に消灯） 消灯：通常時
INTERNET		緑	点灯：INTERNETポートがリンクしている状態 点滅：INTERNETポートがデータを送受信中 消灯：INTERNETポートがリンクしていない状態
LAN1～3、DMZ	LINK/ACT	緑	点灯：LANまたはDMZポートがリンクしている状態 点滅：LANまたはDMZポートがデータを送受信中 消灯：LANまたはDMZポートがリンクしていない状態
	100	緑	点灯：LANまたはDMZポートが100BASE-TXで接続している状態 消灯：LANまたはDMZポートが10BASE-Tで接続している状態、または、リンクしていない状態
PPPoE		緑	点灯：PPPoEメインセッションが接続中 消灯：PPPoEメインセッションが未接続

■背面



背面	
名前	機能
DC IN	付属のACアダプターを接続します。
1,2,3ポート (LAN)	LANケーブルでパソコンやハブを接続します。 ※10Mbps/100Mbpsを自動判別します。また、LANクロスケーブル/LANストレートケーブルも自動判別します。
DMZポート	LANケーブルでパソコンやハブを接続します。 ※10Mbps/100Mbpsを自動判別します。また、LANクロスケーブル/LANストレートケーブルも自動判別します。
INTERNETポート	LANケーブルでFTTH/ADSL/CATVモデムを接続します。 ※10Mbps/100Mbpsを自動判別します。また、LANクロスケーブル/LANストレートケーブルも自動判別します。
リセット スイッチ (RESET)	本製品の設定を初期値に戻します。本製品設定画面のパスワードを忘れてしまった場合などに使用します。（【出荷時設定に戻す】94ページ参照）



参考

●DMZ ポートとは

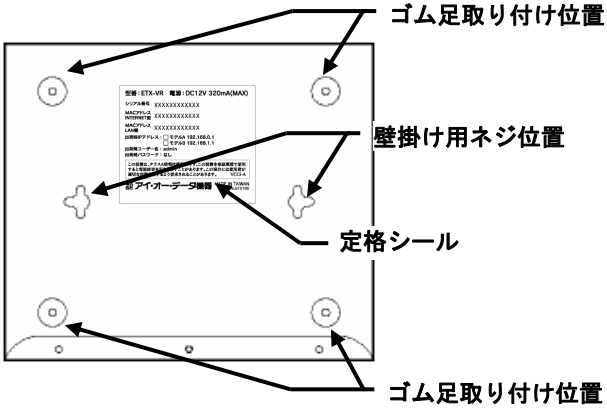
公開したいサーバー（DMZやポートの開放を行うPC）をDMZポートに接続します。DMZポートに接続することにより、LANポートとは物理的に切り離された状態になるので意図しない侵入や攻撃を受けた場合、LANポート1～3に接続されたPCへの被害を防ぐことができます。

サーバーを公開しつつ他のPCへのセキュリティを高く保ちたい場合は、DMZポートの利用をおすすめします。

※DMZポートとLANポートは通信することができません。

※DMZポートを使用する場合、【ファイアウォール】（54ページ）の設定もご覧ください。

■底面



背面	
名前	**機能**
定格シール	本製品のS/N(シリアルナンバー)やMACアドレスが記載されています。また、ETX-VR モデルA、ETX-VR モデルBの区別も記載されています。
ゴム足取り付け位置	貼付のゴム足を取り付ける位置です。
壁掛け用ネジ位置	本製品を壁掛けにする際に引っ掛ける穴です。

設定準備をする

本製品を設定するための環境を作ります。（本製品の設定画面を開けるようにします。）

①本製品を設置し、電源を入れる

モデム（ONU）⇔本製品⇔設定用パソコンをつなぎます。

▼

18ページ

②設定画面を開く

本製品の設定画面を開きます。

21ページ

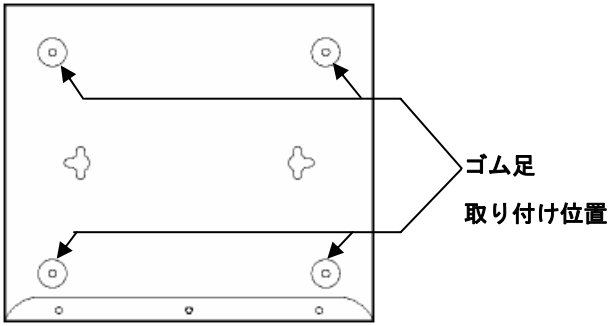
①本製品を設置し、電源を入れる

モデム（ONU）⇔本製品⇔パソコンを接続します。

本製品を設置する

●横置き

本製品底面にゴム足を貼り付け、設置します。

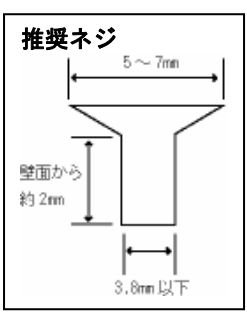


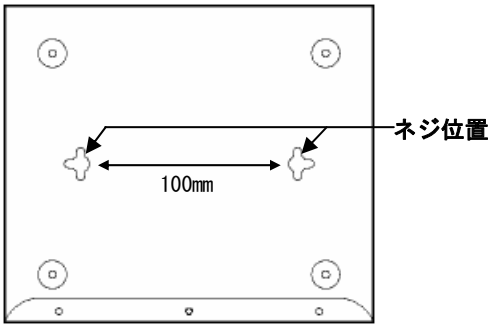
●壁掛け

ネジを利用して、固定します。

壁面にネジを取り付けて、本製品底面（図の位置）に引っ掛けて取り付けます。

※本製品にはネジは添付しておりません。下記推奨ネジを参考に別途ご用意ください。





本製品を接続する

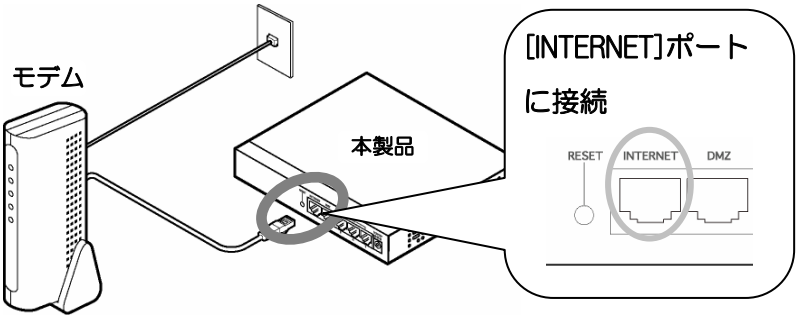
1 パソコンの電源を切ります。

モデムの電源はいれたままにしておいてください。

2 モデム（ONU）を本製品に接続します。

本製品背面の［INTERNET］ポートにLANケーブルを接続します。

※必ずモデムは[INTERNET]ポートに接続してください。

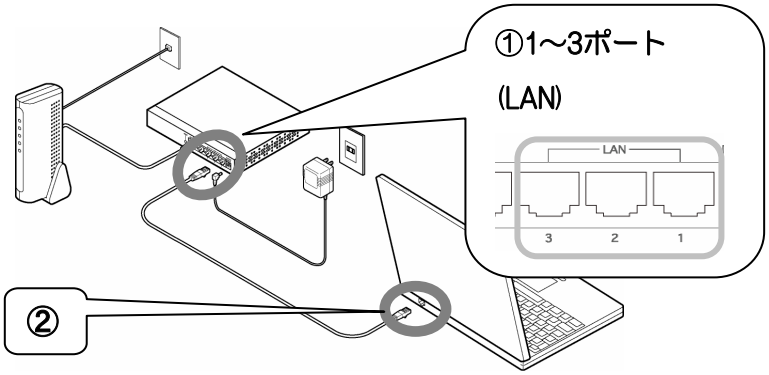


3 本製品とパソコンを接続します。

①本製品の1～3ポート(LAN)のいずれかに添付のLANケーブルをつなぎます。

※パソコンを[INTERNET]ポートに接続しないでください。

②パソコンの電源を切った状態で、LANケーブルをパソコンのLANポートにつなぎます。



本製品を接続する（つづき）

4 本製品⇒パソコンの順に電源を入れます。

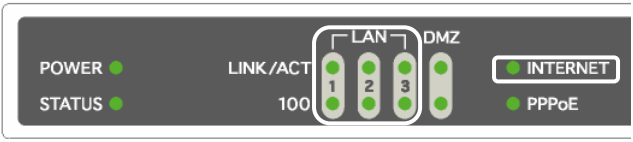
①ACアダプターを本製品の[DC-IN]と電源コンセントに接続します。

②パソコンの電源を入れます。

注意！

- LAN ケーブルを接続してから AC アダプターを接続してください。
  AC アダプターを接続した後に LAN ケーブルを接続すると、本製品を正しく使用できない場合があります。
- ACアダプターは必ず添付のものをご使用ください。
- ACアダプターを抜いた後、再度挿す場合は5秒以上待ってください。

5 しばらくして、本製品の［INTERNET］ランプとパソコンをつないだ[LAN]ランプ(1～3)が点灯することを確認してください。



困った時には

ランプが点灯しない場合は…
⇒LAN ケーブルや AC アダプターの接続を再度ご確認ください。
⇒【困ったときには】（97ページ）をご覧ください。

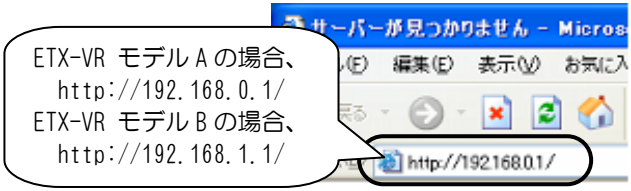
注意！

本製品を DHCP サーバーとしてご利用になる場合は、必ず本製品の電源を入れた後で、パソコンの電源を入れてください。

以上で取り付けは終了です。【②設定画面を開く】（21ページ）へお進みください。

②設定画面を開く

1 Internet Explorerを起動して以下を開きます。
ETX-VR モデルAの場合　→　http://192.168.0.1/
ETX-VR モデルBの場合　→　http://192.168.1.1/



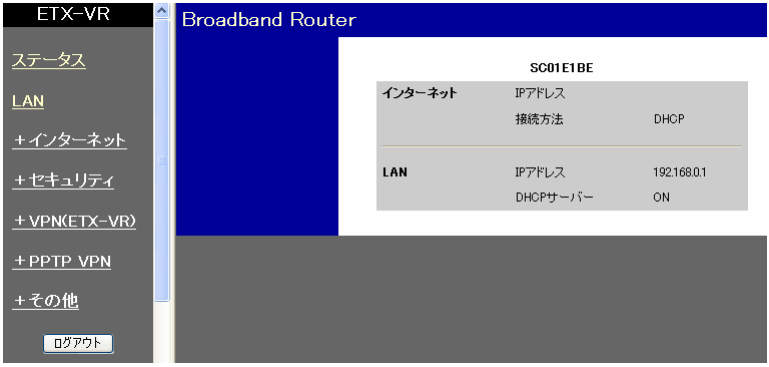
注意！

- 上記IPアドレスは、本製品内部にある設定画面を呼び出すIPアドレスです。本製品がパソコンにLAN接続されていれば、インターネットに接続されていなくても呼び出すことができます。
- モデルA、モデルBのどちらであるかは、本製品裏面の定格シールに記載されています。

2 以下の画面が表示された場合は、内容を確認後、［はい］ボタンをクリックします。



3 設定画面が表示されます。
この画面から各種設定を行います。



困った時には

上記の画面が表示されない場合は…

⇒【困ったときには】（102ページ）をご覧ください。

参考

●パスワード設定済みの場合、上記画面の前にログイン画面が表示されます。このとき設定した[ログイン名]と[パスワード]を入力して、[ログイン]ボタンをクリックしてください。

●パスワードは管理者以外が設定できないようにしたり、誤って設定したりすることを防ぐためのものです。出荷時のログイン名とパスワードは、後で変更することをおすすめします。変更方法は、【管理者設定】（53ページ）をご覧ください。

【インターネットに接続する】（23ページ）へお進みください。

インターネットに接続する

本製品を使用して、インターネットに接続します。

インターネットに接続する

インターネットに接続するための設定を行います。プロバイダーからの資料をご用意ください。

24ページ

▼

Aタイプ：「PPPoE認証接続」の場合

Bフレッツ、TEPCOひかり、eo光ネット、フレッツADSLなどをご利用の場合の設定方法です。

26ページ

Bタイプ：「IPアドレス自動取得接続」の場合

Yahoo! BB、アッカ・ネットワークス、イー・アクセス、フレッツ光プレミアム、USEN、CATVなどをご利用の場合の設定方法です。

31ページ

Cタイプ：「IPアドレス固定設定接続」の場合

プロバイダー、回線事業者から固定のIPアドレスを指定されている場合の設定方法です。

33ページ

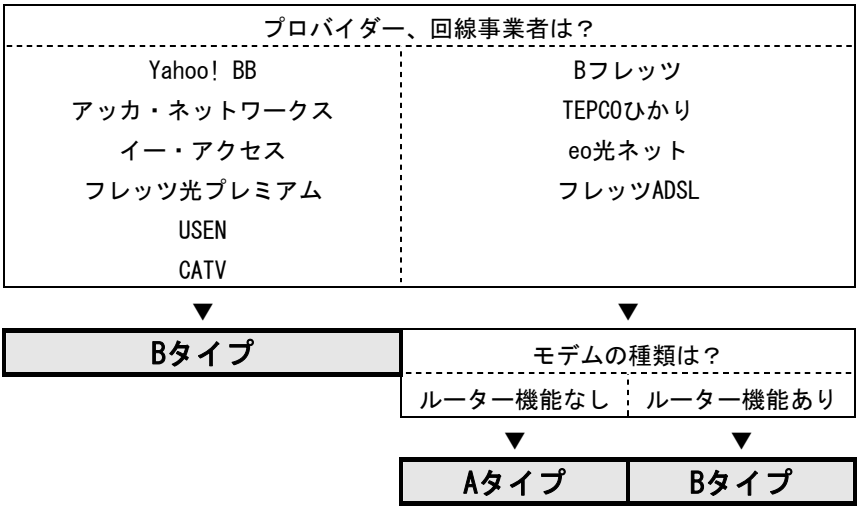
お使いの接続回線がどのタイプかお分かりにならない場合は、24ページをご覧ください。

インターネットに接続する

接続する回線により手順が異なりますので、インターネット接続を行うための接続回線を選択し、必要なページのみをご覧ください。

●お使いの接続回線はどのタイプ？

該当する欄へお進みください。



□ Aタイプ　「PPPoE認証接続」の場合 ····· 26ページ

□ Bタイプ　「IPアドレス自動取得接続」の場合 ····· 31ページ

プロバイダー、回線事業者から固定のIPアドレスを指定されている場合

□ Cタイプ　「IPアドレス固定設定接続」の場合 ····· 33ページ



参考

●モデムの種類について

お使いのモデムがどちらであるかは、モデムの取扱説明書をご覧になるか、ご契約のプロバイダーまたは、回線事業者にお問い合わせください。

ルーター機能付きのIP電話用アダプターなどのルータータイプのモデムをご使用の場合は、プロバイダーに関係なくBタイプになります。

・ルーター機能なし

（ブリッジタイプ） 同時に接続可能なパソコンの台数は1台です。

お使いのパソコンにグローバルIPアドレスを自動的に割り当てます。

（LAN接続タイプとUSBタイプがありますが、USBタイプの場合は本製品を利用できません。）

・ルーター機能あり

（ルータータイプ） 複数のパソコンを接続することができます。

モデムにグローバルIPアドレスを1つ自動的に割り当てます。

パソコン側にはモデムのDHCP機能により、プライベートIPアドレスを割り振ることが可能です。

●プロバイダー、回線事業者について

お使いのプロバイダーや回線事業者が上に記載されていないためどのタイプかわからない場合には、

以下を参考に、該当する接続タイプを選択してください。

・Aタイプ

PPPoE認証(プロバイダーから接続ツールが提供されているかWindows XPの広帯域を使用し、ユーザー名とパスワードを必要とする接続)を使用する

・Bタイプ

PPPoE認証を使用せず、IPアドレスを自動的に取得する(PPPoA認証の場合など)

・Cタイプ

PPPoE認証を使用せず、IPアドレスを固定値に設定する

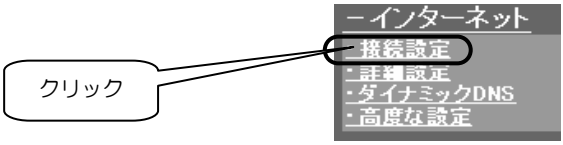


注意！

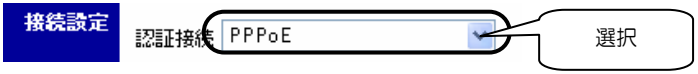
プロバイダーから複数のグローバル IP アドレスが割り当てられるサービスの場合、本製品はご利用いただけません。

Aタイプ：「PPPoE認証接続」の場合

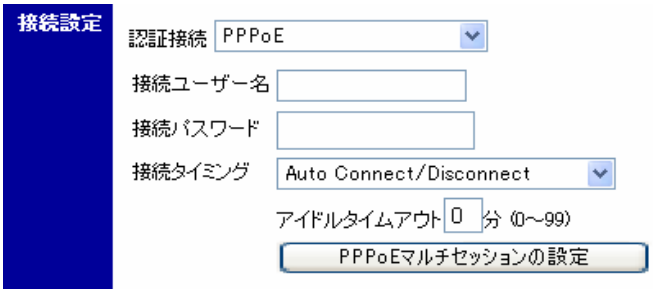
1 **[インターネット]→[接続設定]をクリックします。**



2 **画面下の[接続設定]で、 [PPPoE] を選択します。**



3 **プロバイダーから案内されている資料をもとに設定します。**



接続ユーザー名	プロバイダーから指定された接続ユーザー名を入力します。 （NTT フレッツシリーズの場合は、@ から後ろもすべて入力します。）
接続パスワード	プロバイダーから指定された接続パスワードを入力します。 セキュリティのため、入力文字は“●”または“*”で表示されます。 また、実際に入力したパスワードの文字数と“●”または“*”は異なって表示されます。**（すでに入力済みの●または*を削除してから入力してください。）**

Aタイプ：「PPPoE認証接続」の場合（つづき）

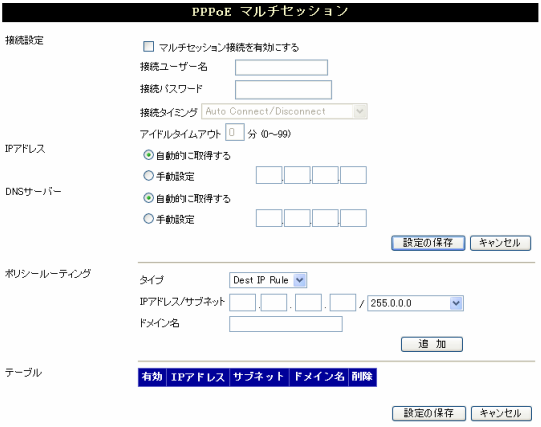
接続タイミング

インターネット接続を行うタイミングを選択します。

Auto Connect/ Disconnect	LAN側からインターネットへのアクセスが発生したときにインターネット接続を行います。 ここを選択した場合は[アイドルタイムアウト]も設定してください。
Manual Connect/ Disconnect	手動にてインターネット接続を行います。 接続/切断は[ステータス]の[接続ステータス]ボタンで表示される画面にある[接続][切断]ボタンで行ってください。
Keep alive (maintain connection)	常にインターネット接続を行います。

アイドルタイムアウト	インターネットへのアクセスが無くなってから、インターネット接続を切断するまでの時間を設定します。 設定できる範囲は 0～99 分です。0 を設定すると切断しなくなります。 ※デフォルトは 0

4 他のプロバイダーをサブセッションにする場合は、[PPPoEマルチセッション設定]ボタンをクリックし、案内されている資料をもとに設定し、[設定の保存]ボタンをクリックします。サブセッション設定を利用しない場合は、手順5（30ページ）へお進みください。



Aタイプ：「PPPoE認証接続」の場合（つづき）

接続設定

マルチセッションを有効にする	チェックを入れるとPPPoEマルチセッション接続が有効になります。
接続ユーザー名	PPPoE認証で使用する接続ユーザー名を設定します。
接続パスワード	PPPoE認証で使用する接続パスワードを設定します。
接続タイミング	インターネット接続を行うタイミングを選択します。
アイドルタイムアウト	インターネットへのアクセスが無くなってから、インターネット接続を切断するまでの時間を設定します。設定できる範囲は 0～99 分です。0 を設定すると切断しなくなります。 ※デフォルトは 0

接続タイミング

Auto Connect/ Disconnect	LAN側からインターネットへのアクセスが発生したときにインターネット接続を行います。 ここを選択した場合は[アイドルタイムアウト]も設定してください。
Manual Connect/ Disconnect	手動にてインターネット接続を行います。 接続/切断は[ステータス]の[接続ステータス]ボタンで表示される画面にある[接続][切断]ボタンで行ってください。
Keep alive (maintain connection)	常にインターネット接続を行います。

IPアドレス

自動的に取得する	インターネット側のIPアドレスを自動的に取得するときに選択します。
手動設定	インターネット側のIPアドレスを固定設定するときに選択します。[手動設定]を選択したときは、インターネット側のIPアドレスも設定してください。

Aタイプ：「PPPoE認証接続」の場合（つづき）

DNSサーバー

自動的に取得する	DNSサーバーのIPアドレスを自動的に取得するときに選択します。
固定設定	DNSサーバーのIPアドレスを固定設定するときに選択します。[固定設定]を選択したときは、DNSサーバーのIPアドレスも設定してください。

ポリシールーティング

タイプ	ポリシールーティングを行うタイプを選択します。 Dest IP Rule：宛先のIPアドレスで判断を行う場合に選択します。[Dest IP Rule]を選択したときは、[IPアドレス/サブネット]も設定してください。 DNS Rule：宛先のドメイン名で判断を行う場合に選択します。[DNS Rule]を選択したときは、[ドメイン名]も設定してください。
IPアドレス	[Dest IP Rule]の場合に設定します。
サブネット	[Dest IP Rule]の場合に設定します。
ドメイン名	[DNS Rule]の場合に設定します。
[追加]ボタン	設定したルールを追加します。

テーブル

有効	チェックを入れると該当するルールが有効になります。
IPアドレス	設定されたIPアドレスを表示します。
サブネット	設定されたサブネットマスクを表示します。
ドメイン名	設定されたドメイン名を表示します。
削除	クリックすると、該当するルールを削除します。

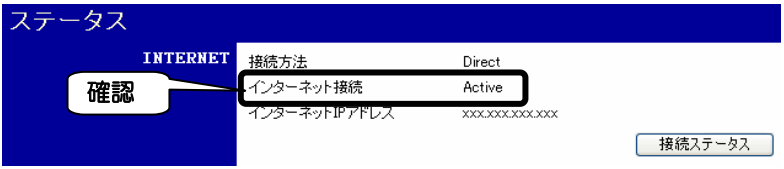
Aタイプ：「PPPoE認証接続」の場合（つづき）

5 **設定したら、画面下の［設定の保存］ボタンをクリックします。**



6 **［ステータス］をクリックします。**
設定したセッションが通信できていることを確認します。





● [Active]と表示されている場合

接続が完了し、インターネットに接続できる状態です。

これで設定は完了です。インターネットをお楽しみください。

● [Failed]と表示されている場合

しばらく(5分ほど)お待ちになり、[接続ステータス]の[接続]ボタンをクリックしてみてください。
それでも[Failed]と表示されている場合は、プロバイダーとの接続が切れている、もしくは正常に接続できていない状態です。設定が正しくできていない可能性があります。再度［接続ユーザー名］や［接続パスワード］を確認してください。

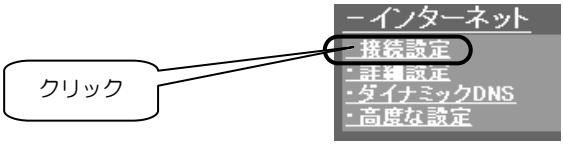


困った時には

インターネットに接続できない場合は…
⇒【困ったときには】（107ページ）をご覧ください。

Bタイプ：「IPアドレス自動取得接続」の場合

1 **[インターネット]→[接続設定]をクリックします。**



2 **[IPアドレス]の［IPアドレスを自動的に取得する］にチェックが付いていることを確認します。**



3 **設定したら、画面下の［設定の保存］ボタンをクリックします。**

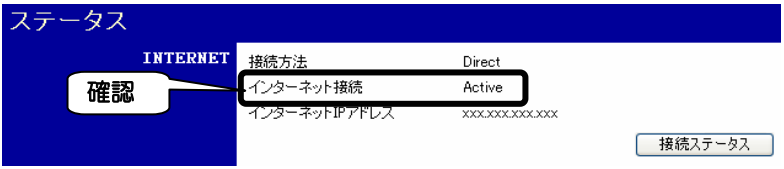


4 **[ステータス]をクリックします。**

設定したセッションが通信できていることを確認します。



Bタイプ：「IPアドレス自動取得接続」の場合（つづき）



● [Active]と表示されている場合

接続が完了し、インターネットに接続できる状態です。

これで設定は完了です。インターネットをお楽しみください。

● [Failed]と表示されている場合

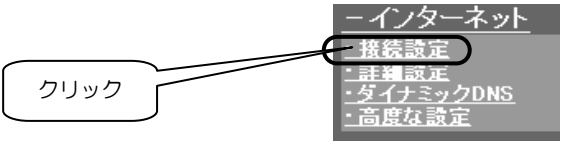
[接続ステータス]の[更新]ボタンをクリックしてみてください。
それでも[Failed]と表示される場合は、プロバイダーとの接続が切れている、もしくは正常に接続できていない状態です。
LANケーブルの接続やモデムの電源を入れ直してご確認ください。

困った時には

インターネットに接続できない場合は…
⇒【困ったときには】（108ページ）をご覧ください。

Cタイプ：「IPアドレス固定設定接続」の場合

1 [インターネット]→[接続設定]をクリックします。



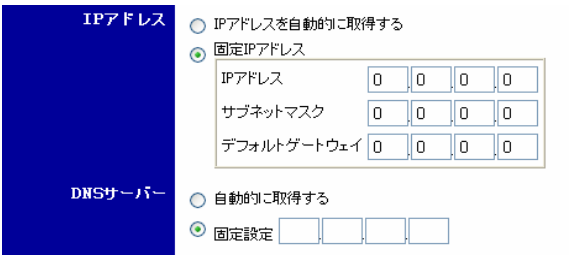
2 [IPアドレス]の［固定IPアドレス］にチェックを付けます。



3 メッセージが表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。



4 各アドレスを設定します。



IP アドレス	プロバイダーから指定された IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	プロバイダーから指定されたサブネットマスクを入力します。
デフォルト ゲートウェイ	プロバイダーから指定されたデフォルトゲートウェイアドレスを入力します。
DNS サーバー	プロバイダーから指定されている場合は、DNS(ネーム)サーバーアドレスを入力します。

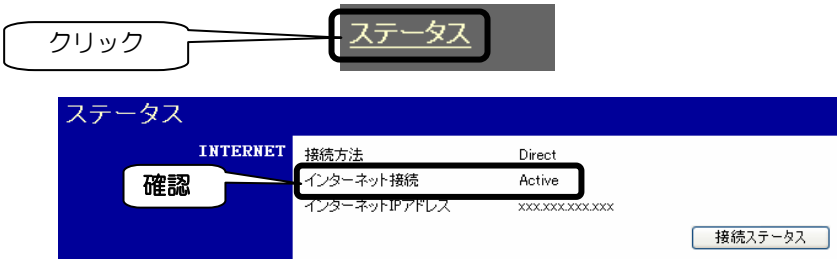
Cタイプ：「IPアドレス固定設定接続」の場合（つづき）

5 **設定したら、画面下の［設定の保存］ボタンをクリックします。**



6 **［ステータス］をクリックします。**

設定したセッションが通信できていることを確認します。



● ［Active］と表示されている場合

接続が完了し、インターネットに接続できる状態です。

これで設定は完了です。インターネットをお楽しみください。



困った時には

インターネットに接続できない場合は…
⇒【困ったときには】（108ページ）をご覧ください。

他の設定をする

本製品の設定画面について説明します。

ステータス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

LAN ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

インターネット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42

●接続設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 42ページ
●オプション設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48ページ
●ダイナミックDNS ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49ページ
●DMZ ・・ 52ページ

セキュリティ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53

●管理者設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53ページ
●ファイアウォール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54ページ
●サービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61ページ
●ログ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63ページ
●詳細設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66ページ

VPN(ETX-VR) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67

●ポリシー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67ページ
●ステータス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72ページ

PPTP VPN ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73

●サーバー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73ページ
●ユーザー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74ページ
●PPTPを利用した接続を行う場合のPC設定方法 ・・・・・・・・・・・・・ 75ページ
●ステータス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 79ページ

その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80

●PCデータベース ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80ページ
●ルーティング ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85ページ
●UPnP ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88ページ
●外部からの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89ページ
●設定の管理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91ページ
●ファームウェア更新 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 92ページ

ステータス

本製品のステータス情報を表示します。



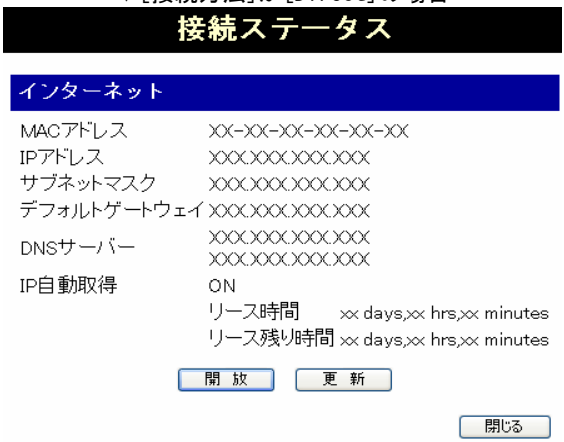
項目	説明	
INTERNET	接続方法	インターネットへ接続する方法を表示します。 Direct：IPアドレス自動取得接続またはIPアドレス固定設定接続 SinglePPPoE：PPPoE認証接続（シングルセッション） MultiPPPoE：PPPoE認証接続（マルチセッション）
	インターネット接続	インターネット接続の状態を表示します。 Failed：インターネット接続が切断されています。 Active：インターネット接続が接続されています。
	インターネットIPアドレス	インターネット側のIPアドレスを表示します。
	[接続ステータス]ボタン	インターネット接続に対しての詳細なステータスを表示します。

項目	説明	
LAN	IPアドレス	LAN側のIPアドレスを表示します。
	サブネットマスク	LAN側のサブネットマスクを表示します。
	DHCPサーバー	DHCPサーバーの状態を表示します。 [ON]：DHCPサーバーが有効になっています。 [OFF]：DHCPサーバーが無効になっています。
システム	ホスト名	ホスト名を表示します。
	ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
	[システムステータス]ボタン	システムに関しての詳細なステータスを表示します。

ボタン	説明
更新	ステータス情報の表示を最新の情報に更新します。
ルータの再起動	本製品の再起動を行います。

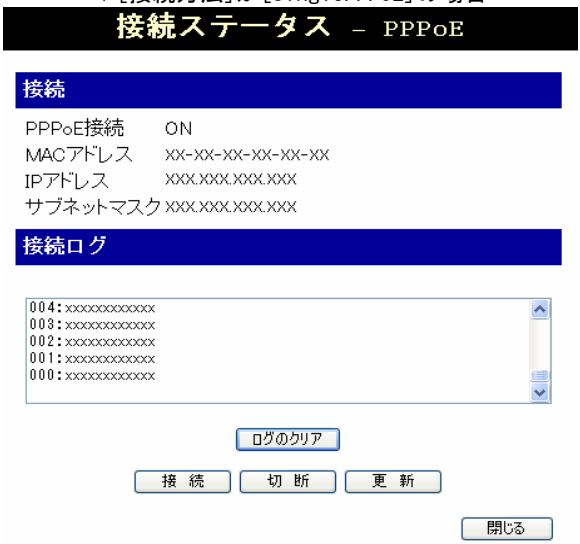
●接続ステータス

▼[接続方法]が[Direct]の場合



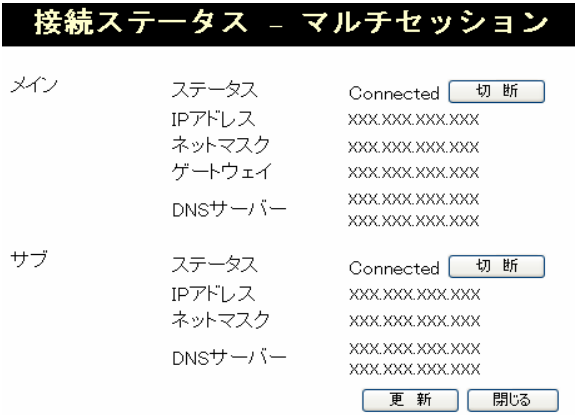
項目	説明
MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。
IPアドレス	本製品のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	本製品のデフォルトゲートウェイを表示します。
DNSサーバー	本製品のDNSサーバーを表示します。
IP自動取得	IPアドレス自動取得接続の場合ONと表示されます。

▼[接続方法]が[SinglePPPoE]の場合



項目	説明
PPPoE接続	PPPoE接続されているかどうか表示します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。
IPアドレス	本製品のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを表示します。

▼[接続方法]が[MultiPPPoE]の場合



項目	説明
ステータス	現在の接続状況を表示します。
IPアドレス	本製品のIPアドレスを表示します。
ネットマスク	本製品のサブネットマスクを表示します。
ゲートウェイ	本製品のデフォルトゲートウェイを表示します。
DNSサーバー	本製品のDNSサーバーを表示します。

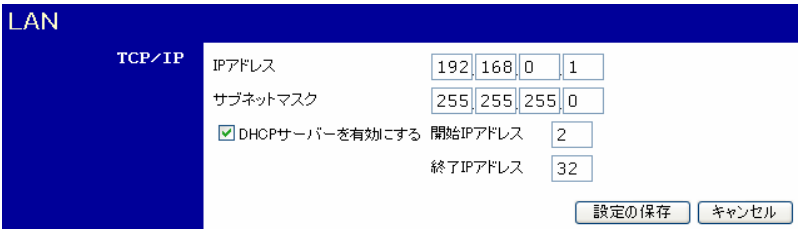
●システムステータス



項目	説明
デバイス名	本製品のデバイス名を表示します。
ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアバージョンを表示します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。
IPアドレス	本製品のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを表示します。
DHCPサーバー	DHCPサーバーがONかOFFかを示します。
開始IPアドレス	DHCPサーバーがONの場合に、開始IPアドレスを表示します。
終了IPアドレス	DHCPサーバーがONの場合に、終了IPアドレスを表示します。
接続方法	インターネットへの接続方法を表示します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスを表示します。
IPアドレス	本製品のIPアドレスを表示します。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを表示します。
デフォルトゲートウェイ	本製品のデフォルトゲートウェイを表示します。
IP自動取得	IPアドレス自動取得接続の場合ONと表示されます。
DNSサーバー	本製品のDNSサーバーを表示します。

LAN

本製品のLANの設定ができます。



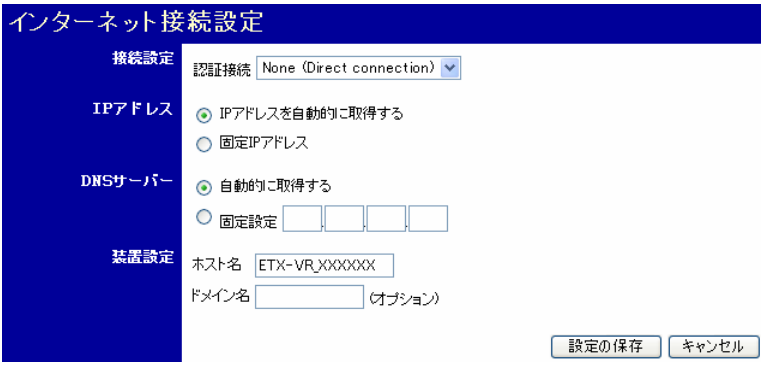
項目	説明	
TCP/IP	IPアドレス	LAN側のIPアドレスを設定します。 ※デフォルト値は下記のようになります。 ETX-VR モデルA:192.168.0.1 ETX-VR モデルB:192.168.1.1
	サブネットマスク	LAN側のサブネットマスクを設定します。 ※デフォルト値は 255.255.255.0
	DHCPサーバーを有効にする	チェックを入れることにより本製品のDHCPサーバーが有効になります。 DHCPサーバーが割り当てることのできるIPアドレスは、LAN側のIPアドレスと上位３つの部分が同じ範囲になります。 ※デフォルトは[有効]です。
	開始アドレス	DHCPサーバーが割り当てる開始アドレス(IPアドレスのいちばん下のアドレス)を設定します。※デフォルト値は 2
	終了アドレス	DHCPサーバーが割り当てる終了アドレス(IPアドレスの一番下のアドレス)を設定します。※デフォルト値は 32

ボタン	説明
設定の保存	入力内容が反映されます。
キャンセル	入力した内容を現在の情報に戻します。

インターネット

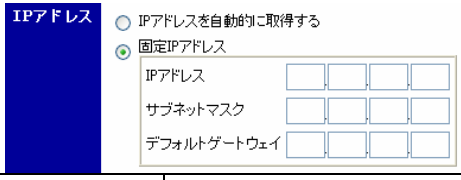
本製品のインターネット接続に関する設定ができます。

接続設定



項目	説明	
接続設定	認証接続に関して設定を行います。	
	None (Direct Connection)	認証による接続を行いません。 IPアドレス自動取得接続/IPアドレス固定設定接続のときに選択してください。
	PPPoE	PPPoE認証接続を行います。 [PPPoE]を選んだときは[接続ユーザー名][接続パスワード][接続タイミング][アイドルタイムアウト][PPPoEマルチセッションの設定]も設定してください。次ページをご覧ください。
IPアドレス		
	IPアドレスを自動的に取得する	インターネット側のIPアドレスを自動的に取得するときに選択します。
	固定IPアドレス	インターネット側のIPアドレスを固定設定するときに選択します。 ここを選択した場合は、[IPアドレス][サブネットマスク][デフォルトゲートウェイ]も設定してください。 PPPoE認証接続の時にここを選択した場合は、DNSサーバーも固定設定してください。

接続設定（つづき）

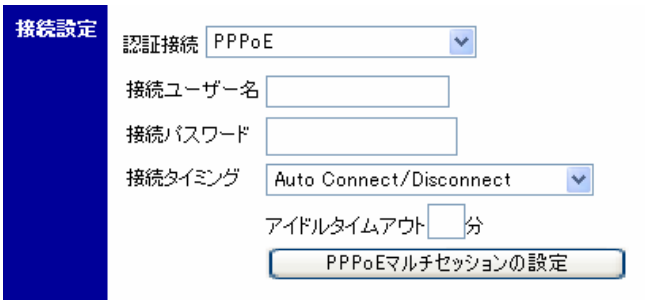
<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>IPアドレス</td><td>
●[固定IPアドレス]に設定した場合


<table>
<tr><td>IPアドレス</td><td>インターネット側のIPアドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>インターネット側のサブネットマスクを設定します。
PPPoE認証接続の時に選択した場合は、入力する必要はありません。</td></tr>
<tr><td>デフォルトゲートウェイ</td><td>インターネット側のデフォルトゲートウェイを設定します。
PPPoE認証接続の時に選択した場合は、入力する必要はありません。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>DNSサーバー</td><td>
<table>
<tr><td>自動的に取得する</td><td>DNSサーバーのIPアドレスを自動的に取得するときに選択します。</td></tr>
<tr><td>固定設定</td><td>DNSサーバーのIPアドレスを固定設定するときに選択します。
[固定設定]を選択したときは、DNSサーバーのIPアドレスも設定してください。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>装置設定</td><td>
<table>
<tr><td>ホスト名</td><td>ホスト名を設定します。必要がなければ設定を変更する必要はありません。</td></tr>
<tr><td>ドメイン名</td><td>ドメイン名を設定します。必要がなければ設定する必要はありません。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

ボタン	説明
設定の保存	入力内容が反映されます。
キャンセル	入力した内容を現在の情報に戻します。

接続設定（つづき）

●PPPoE

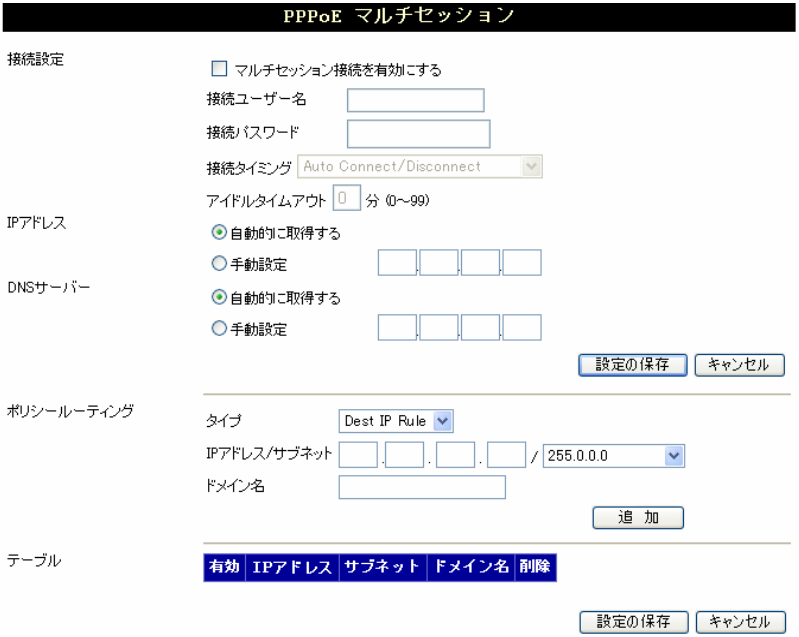


項目	説明
認証接続	PPPoEを選択します。
接続ユーザー名	PPPoE認証で使用する接続ユーザー名を設定します。
接続パスワード	PPPoE認証で使用する接続パスワードを設定します。
接続タイミング	インターネット接続を行うタイミングを選択します。 Auto Connect/Disconnect：LAN側からインターネットへのアクセスが発生したときにインターネット接続を行います。ここを選択した場合は[アイドルタイムアウト]も設定してください。 Manual Connect/Disconnect：手動にてインターネット接続を行います。接続/切断は[ステータス]の[接続ステータス]ボタンで表示される画面にある[接続][切断]ボタンで行ってください。 Keep alive (maintain connection)：常にインターネット接続を行います。
アイドルタイムアウト	インターネットへのアクセスが無くなってから、インターネット接続を切断するまでの時間を設定します。 設定できる範囲は 0～99 分です。0 を設定すると切断しなくなります。 ※デフォルトは 0

ボタン	説明
PPPoEマルチセッションの設定	PPPoEマルチセッションに関して設定します。次ページをご覧ください。

接続設定（つづき）

●PPPoEマルチセッション



項目	説明	
接続設定	マルチセッション接続を有効にする	チェックを入れるとPPPoEマルチセッション接続が有効になります。
	接続ユーザー名	PPPoE認証で使用する接続ユーザー名を設定します。
	接続パスワード	PPPoE認証で使用する接続パスワードを設定します。

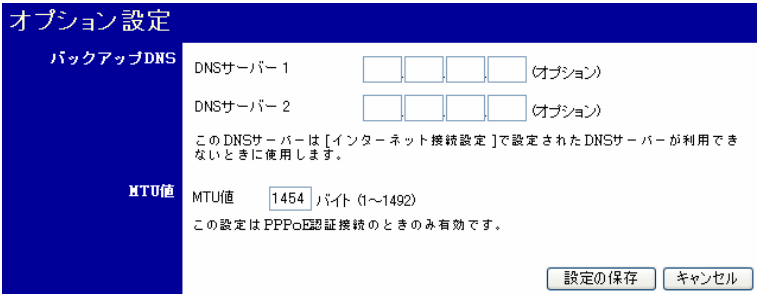
接続設定（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>接続設定</td><td>
<table>
<tr><td>接続
タイミング</td><td>インターネット接続を行うタイミングを選択します。
<table>
<tr><td>Auto Connect/ Disconnect</td><td>LAN側からインターネットへのアクセスが発生したときにインターネット接続を行います。
ここを選択した場合は[アイドルタイムアウト]も設定してください。</td></tr>
<tr><td>Manual Connect/ Disconnect</td><td>手動にてインターネット接続を行います。
接続/切断は[ステータス]の[接続ステータス]ボタンで表示される画面にある[接続][切断]ボタンで行ってください。</td></tr>
<tr><td>Keep alive (maintain connection)</td><td>常にインターネット接続を行います。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>アイドル
タイムアウト</td><td>インターネットへのアクセスが無くなってから、インターネット接続を切断するまでの時間を設定します。設定できる範囲は 0～99 分です。0 を設定すると切断しなくなります。
※デフォルトは 0</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>IPアドレス</td><td>
<table>
<tr><td>自動的に取得する</td><td>インターネット側のIPアドレスを自動的に取得するときに選択します。</td></tr>
<tr><td>手動設定</td><td>インターネット側のIPアドレスを固定設定するときに選択します。[手動設定]を選択したときは、インターネット側のIPアドレスも設定してください。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>DNSサーバー</td><td>
<table>
<tr><td>自動的に取得する</td><td>DNSサーバーのIPアドレスを自動的に取得するときに選択します。</td></tr>
<tr><td>固定設定</td><td>DNSサーバーのIPアドレスを固定設定するときに選択します。[固定設定]を選択したときは、DNSサーバーのIPアドレスも設定してください。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

接続設定（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>ポリシー
ルーティング</td><td>
<table>
<tr><td>タイプ</td><td>ポリシールーティングを行うタイプを選択します。
<table>
<tr><td>Dest IP Rule</td><td>宛先のIPアドレスで判断を行う場合に選択します。
[Dest IP Rule]を選択したときは、[IPアドレス/サブネット]も設定してください。</td></tr>
<tr><td>DNS Rule</td><td>宛先のドメイン名で判断を行う場合に選択します。
[DNS Rule]を選択したときは、[ドメイン名]も設定してください。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>IPアドレス</td><td>[Dest IP Rule]の場合に設定します。</td></tr>
<tr><td>サブネット</td><td>[Dest IP Rule]の場合に設定します。</td></tr>
<tr><td>ドメイン名</td><td>[DNS Rule]の場合に設定します。</td></tr>
<tr><td>[追加]ボタン</td><td>設定したルールを追加します。</td></tr>
</table>
例）フレッツ･スクウェアの場合
[タイプ]で[DNS Rule]を選択し、[ドメイン名]に[.flets]を設定します。</td></tr>
<tr><td>テーブル</td><td>
<table>
<tr><td>有効</td><td>チェックを入れると該当するルールが有効になります。</td></tr>
<tr><td>IPアドレス</td><td>設定されたIPアドレスを表示します。</td></tr>
<tr><td>サブネット</td><td>設定されたサブネットマスクを表示します。</td></tr>
<tr><td>ドメイン名</td><td>設定されたドメイン名を表示します。</td></tr>
<tr><td>削除</td><td>クリックすると、該当するルールを削除します。</td></tr>
</table>
※最大10エントリー登録できます。</td></tr>
</table>

オプション設定



項目	説明	
バックアップDNS	DNSサーバー1,2	[インターネット接続設定]で設定されたDNSサーバーが利用できないときに、ここで設定されたDNSサーバーアドレスを使用します。
MTU値	MTU値	インターネットへアクセスするときのMTU値を設定します。設定できる範囲は 1～1492 バイトです。 ※デフォルトは 1454 ※この設定はPPPoE認証接続のときのみ有効です。

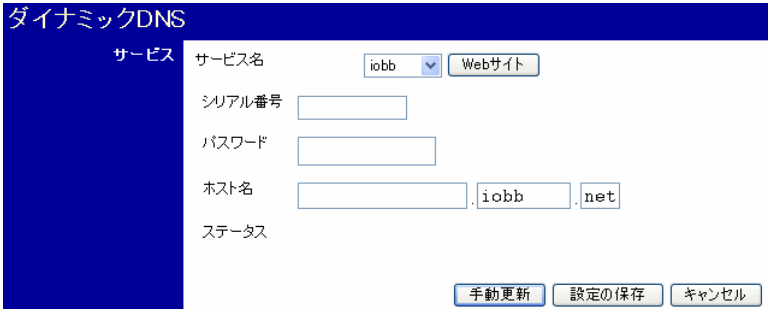
ボタン	説明
設定の保存	入力内容が反映されます。
キャンセル	入力した内容を現在の情報に戻します。

ダイナミックDNS

ダイナミック DNS とは、仮想サーバーなどを公開する場合に、IP アドレスを指定せずにドメイン名で指定できるようにする機能です。接続するたびに IP アドレスが変わってしまう場合でも、ダイナミック DNS を利用すれば、常にドメイン名でアクセスできます。下記の手順にしたがって設定してください。

※ダイナミックDNSサービスに関しては、弊社ダイナミックDNSサービスiobb.netをご利用いただく場合のみサポート対象とさせていただきます。その他のダイナミックDNSサービスには対応しておりません。

▼例：「iobb」の場合



ダイナミックDNSの設定手順

1 [iobb]を選択し、[Webサイト]ボタンをクリックしすると、弊社ダイナミックDNSサービス　→　http://www.iobb.net/が開きます。
ダイナミックDNSサービスのユーザー登録を行います。
ダイナミックDNSサービスの登録が完了したら、**2** へお進みください。



注意！

ダイナミックDNSサービスで登録したパスワードやメールアドレスはは忘れないようにご注意ください。

2 本製品設定画面の[インターネット]→[ダイナミックDNS]をクリックします。

3 上から順に設定を行います。

ダイナミックDNS（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="6">サービス</td><td>サービス名</td><td>ダイナミックDNSのサービスを選択します。
<table><tr><td>none</td><td>ダイナミックDNSが無効です。</td></tr><tr><td>iobb.net</td><td>ダイナミックDNSサービスとしてiobb.netを使用します。
[iobb.net]を選んだときは[シリアル番号][パスワード][ホスト名]も設定してください。</td></tr></table>
<table><tr><td>[Webサイト]ボタン</td><td>ダイナミックDNSサービスのWebサイトを表示します。
アクセスするときはインターネット接続が行われていることを確認してください。</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>シリアル番号</td><td>本製品のシリアル番号(ダイナミックDNSサービスで登録した)を設定します。</td></tr>
<tr><td>パスワード</td><td>ダイナミックDNSサービスで登録したパスワードを設定します。</td></tr>
<tr><td>ホスト名</td><td>ダイナミックDNSサービスで登録したホスト名を設定します。</td></tr>
<tr><td>ステータス</td><td>ダイナミックDNSサービスの更新状態を表示します。</td></tr>
</table>

ボタン	説明
手動更新	ダイナミックDNSサービスに対して手動でIPアドレスを更新します。
設定の保存	入力内容が反映されます。
キャンセル	入力した内容を現在の情報に戻します。

4 [設定の保存]ボタンをクリックします。

以上で設定は完了です。
この後、外部のネットワークから実際にアクセスできることをご確認ください。

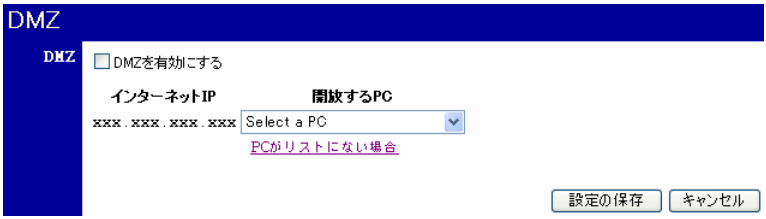
ダイナミックDNS（つづき）



注意！

- **アクセスしようとしているサーバーと同じLAN内のパソコンからはドメイン名ではアクセスできません。外部の別のネットワークからドメイン名でアクセスできることをご確認ください。**
- **サーバーと同じLAN内から接続する場合には、ローカルIPアドレスでアクセスしてください。**
- **ルータータイプのモデムをお使いの場合は、ダイナミックDNS機能はお使いいただけません。**

DMZ



項目	説明	
DMZ	有効	チェックを入れることにより該当するDMZを有効にします。
	インターネットIP	インターネット側のIPアドレスが表示されます。
	開放するPC	開放を行うPCを選択します。

ボタン	説明
設定の保存	入力内容が反映されます。
キャンセル	入力した内容を現在の情報に戻します。

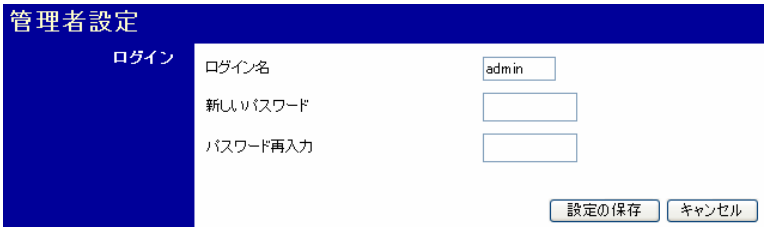


困った時には

リストに開放するPCが無い場合は、【PCデータベース】の【高度な設定】（82ページ）で追加することもできます。

セキュリティ

管理者設定



項目	説明	
ログイン	ログイン名	設定画面にアクセスするためのログイン名を設定します。半角英数字9文字以内で設定してください。 ※デフォルトは"admin"
	新しいパスワード	設定画面にアクセスするためのパスワードを設定します。半角英数字9文字以内で設定してください。 ※デフォルトはパスワードなしです
	パスワード再入力	設定画面にアクセスするためのパスワードを再度入力します。

ボタン	説明
設定の保存	入力内容が反映されます。
キャンセル	入力した内容を現在の情報に戻します。



参考

工場出荷時には設定のしやすさを考慮し、パスワードなしに設定されていますが、セキュリティの向上のため、パスワードを設定することをおすすめします。



注意！

設定したパスワードを忘れると、設定画面にアクセスできなくなります。再度設定画面にアクセスする場合は、工場出荷時状態に戻す以外に方法がありませんのでご注意ください。パスワードを忘れてしまった場合は、【困ったときには】（106ページ）をご覧ください。

ファイアウォール

ポートの開放やDMZポートの設定を行う場合に設定します。



項目	説明
一覧を表示するルール	一覧を表示するファイアウォールのルールを表示します。 DMZ=>INTERNET：DMZポートからINTERNETポート方向へのルールを表示します。 LAN=>INTERNET：LANポートからINTERNETポート方向へのルールを表示します。 INTERNET=>LAN：INTERNETポートからLANポート方向へのルールを表示します。 INTERNET=>DMZ：INTERNETポートからDMZポート方向へのルールを表示します。
名前	ルールの名前を表示します。
送信元	送信元のIPアドレスを表示します。
宛先	宛先のIPアドレスを表示します。
処理	処理の方法を表示します。

※各方向合わせて最大60エントリー登録できます。

ファイアウォール

ボタン	説明
[上]ボタン 	選択したルールを上に移動します。
[下]ボタン 	選択したルールを下に移動します。
[OK]ボタン 	[上][下]ボタンで移動した状態を決定します。
[CANCEL]ボタン 	選択したルールを削除します。
追加	ルールを追加します。次ページをご覧ください。
編集	選択したルールの編集をします。
移動	選択したルールを移動します。
削除	選択したルールを削除します。
ログの表示	ファイアウォールのログを表示します。
システムルール	システムに設定されているすべてのルールを表示します。

ファイアウォール（つづき）

●ルールの追加/編集



項目	説明	
名前	ルールの名前（半角英数字12文字まで）を設定します。	
方向	ルールを適用する方向を設定します。	
	DMZ --> INTERNET	DMZポートからINTERNETポート方向へパケットを送信する時のルールを設定します。
	LAN --> INTERNET	LANポートからINTERNETポート方向へパケットを送信する時のルールを設定します。
	INTERNET --> LAN	INTERNETポートからLANポート方向へパケットを送信する時のルールを設定します。
	INTERNET --> DMZ	INTERNETポートからDMZポート方向へパケットを送信する時のルールを設定します。

ファイアウォール（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="5">送信元IP</td><td colspan="2">送信元のIPアドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>IPタイプ</td><td>設定するIPアドレスのタイプを選択します。
<table>
<tr><td>Any</td><td>ルールを任意のIPアドレスに対して適用します。</td></tr>
<tr><td>Single address</td><td>ルールを単一のIPアドレスに対して適用します。
[Single address]を選択した場合は[開始IPアドレス]も設定してください。</td></tr>
<tr><td>Address Range</td><td>ルールをIPアドレス範囲に対して適用します。
[Address Range]を選択した場合は[開始IPアドレス][終了IPアドレス]も設定してください。</td></tr>
<tr><td>subnet address</td><td>ルールをネットワークに対して適用します。
[subnet address]を選択した場合は[開始IPアドレス][サブネットマスク]も設定してください。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>開始IPアドレス</td><td>ルールを適用する開始IPアドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>終了IPアドレス</td><td>ルールを適用する終了IPアドレスを設定します</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>ルールを適用するサブネットマスクを設定します。</td></tr>
</table>



参考

具体的な設定については、【困ったときには】の【ネットワークゲームやサーバーを公開したい】（112ページ）をご覧ください。

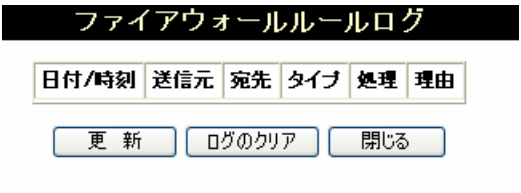
ファイアウォール（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>宛先IP</td><td>宛先のIPアドレスを設定します。
<table>
<tr><td>IPタイプ</td><td>設定するIPアドレスのタイプを選択します。
<table>
<tr><td>Any</td><td>ルールを任意のIPアドレスに対して適用します。</td></tr>
<tr><td>Single address</td><td>ルールを単一のIPアドレスに対して適用します。
[Single address]を選択した場合は[開始IPアドレス]も設定してください。</td></tr>
<tr><td>Address Range</td><td>ルールをIPアドレス範囲に対して適用します。
[Address Range]を選択した場合は[開始IPアドレス][終了IPアドレス]も設定してください。</td></tr>
<tr><td>subnet address</td><td>ルールをネットワークに対して適用します。
[subnet address]を選択した場合は[開始IPアドレス][サブネットマスク]も設定してください。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>開始IPアドレス</td><td>ルールを適用する開始IPアドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>終了IPアドレス</td><td>ルールを適用する終了IPアドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>ルールを適用するサブネットマスクを設定します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>サービス</td><td>ルールを適用するサービスを選択します。
サービスは[セキュリティ]の[サービス]に登録されているものが選択できます。また、一覧にないサービスは追加することができます。（61ページ）</td></tr>
<tr><td>処理</td><td>ルールに適合したパケットに対する処理を選択します。
<table>
<tr><td>Block</td><td>パケットを拒否します。</td></tr>
<tr><td>Forward</td><td>パケットを許可します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>ログの記録</td><td>このルールに対するログの記録を選択します。
<table>
<tr><td>Never</td><td>ログに記録しません。</td></tr>
<tr><td>Always</td><td>ルールの適合/不適合にかかわらずログに記録します。</td></tr>
<tr><td>Match</td><td>ルールに適合した場合、ログに記録します。</td></tr>
<tr><td>Not Match</td><td>ルールに適合しない場合、ログに記録します。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

ファイアウォール（つづき）

ボタン	説明
設定の保存	入力内容が反映されます。
キャンセル	入力した内容を現在の情報に戻します。
戻る	前のページに戻ります。

●ファイアウォールログ



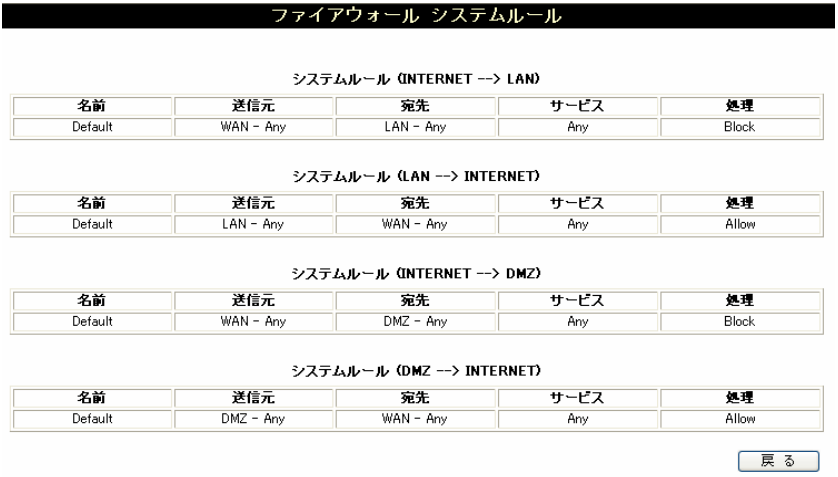
項目	説明
日付/時刻	ログの日付と時刻を表示します。
送信元	送信元のIPアドレスとポート番号を表示します。
宛先	宛先のIPアドレスとポート番号を表示します。
タイプ	プロトコルのタイプを表示します。 TCP：TCPプロトコルです。 UDP：UDPプロトコルです。
処理	パケットの処理を表示します。 REJECTED：パケットを拒否しました。 BYPASSED：パケットを許可しました。
理由	処理を行った理由を表示します。 Inbound（ルール名）match：インターネットからのパケットがルールに一致しました。 Inbound（ルール名）not match：インターネットからのパケットがルールに一致しませんでした。 Outbound（ルール名）match：インターネットへのパケットがルールに一致しました。 Outbound（ルール名）not match：インターネットへのパケットがルールに一致しませんでした。

ボタン	説明
更新	ログを更新します。
ログのクリア	ログをクリアします。
閉じる	このページを閉じます

ファイアウォール（つづき）

●ファイアウォールシステムルール

システムに設定されているすべてのルールを表示します。

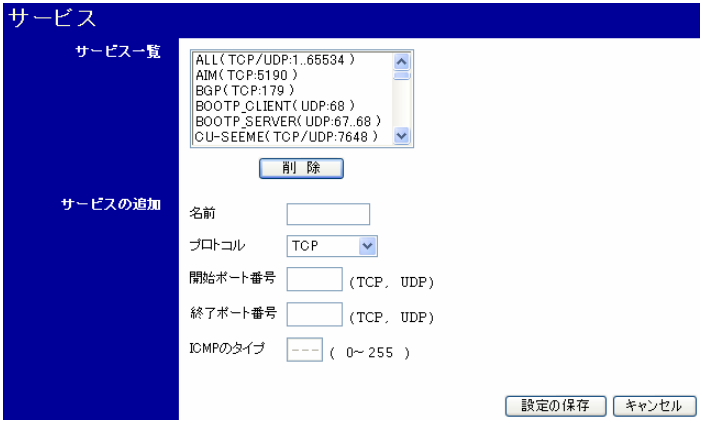


項目	説明
名前	ルールの名前を表示します。
送信元	送信元のIPアドレスを表示します。
宛先	宛先のIPアドレスを表示します。
サービス	サービスを表示します。
処理	処理の方法を表示します。

ボタン	説明
戻る	前のページに戻ります。

サービス

ファイアウォールに使用するサービスを編集する場合に使用します。



項目	説明	
サービス一覧	登録されているサービスの一覧を表示します。	
	[削除]ボタン	選択したサービスを一覧から削除します。
サービスの追加	名前	半角英数字12文字以内で、サービスの名前を設定します。
	プロトコル	サービスのプロトコルを選択します。
	TCP	TCPプロトコルです。[TCP]を選択した場合は[開始ポート番号][終了ポート番号]も設定してください。
	UDP	UDPプロトコルです。[UDP]を選択した場合は[開始ポート番号][終了ポート番号]も設定してください。
	TCP/UDP	TCP/UDPプロトコルです。[TCP/UDP]を選択した場合は[開始ポート番号][終了ポート番号]も設定してください。
	ICMP	ICMPプロトコルです。[ICMP]を選択した場合は[ICMPのタイプ]も設定してください。

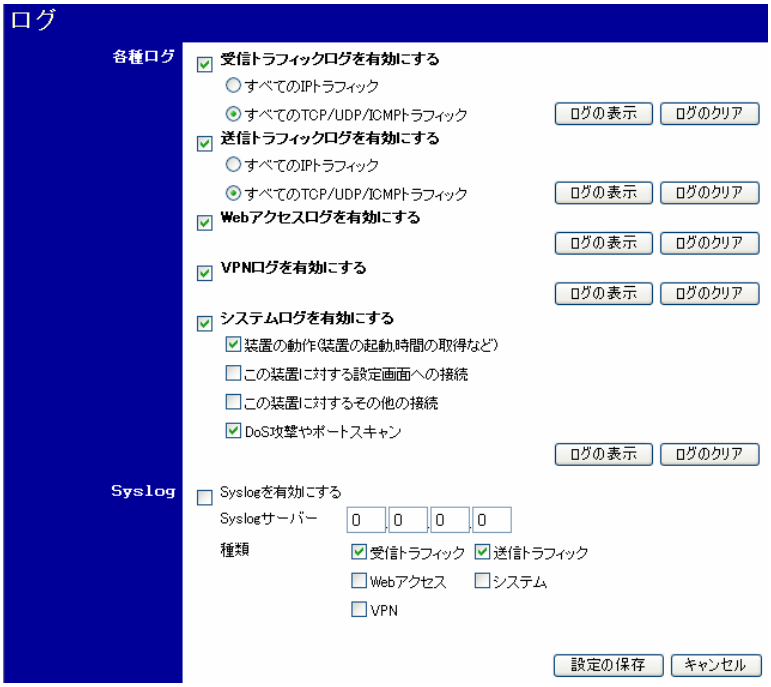
サービス（つづき）

項目	説明	
サービスの追加	開始ポート番号	開始ポート番号を設定します。 設定可能範囲は 1～65534 です。
	終了ポート番号	開始ポート番号を設定します。 設定可能範囲は 1～65534 です。 単一のポートを指定するときは開始ポート番号と同じ値を設定します。
	ICMPのタイプ	ICMPタイプを設定します。 設定可能範囲は 0～255 です。

ボタン	説明
設定の保存	入力内容が反映されます。
キャンセル	入力した内容を現在の情報に戻します。

※ユーザーの設定として最大30エントリー登録できます。

ログ



※画面のチェックがデフォルト値です。

項目	説明		
各種ログ	受信トラフィックログを有効にする	チェックを入れることにより受信トラフィック(INTERNETポートからLAN(DMZ)ポートへの通信)に対するログが有効になります。	
		すべてのIPトラフィック	すべてのIPトラフィックに対してログを記録します。
		すべてのTCP/UDP/ICMPトラフィック	すべてのTCP/UDP/ICMPトラフィックに対してログを記録します。

ログ（つづき）

項目	説明		
各種ログ	送信トラフィックログを有効にする	チェックを入れることにより送信トラフィック(LAN(DMZ)ポートからINTERNETポートへの通信)に対するログが有効になります。	
		すべてのIPトラフィック	すべてのIPトラフィックに対してログを記録します。
		すべてのTCP/UDP/ICMPトラフィック	すべてのTCP/UDP/ICMPトラフィックに対してログを記録します。
	Webアクセスログを有効にする	チェックを入れることによりWebサイトへのアクセスに対するログが有効になります。	
	VPNログを有効にする	チェックを入れることによりVPN(ETX-VR)接続に対するログが有効になります。	
	システムログを有効にする	チェックを入れることによりシステムに関するログが有効になります。	
		装置の動作(装置の起動,時間の取得など)	チェックを入れることにより装置の動作(装置の起動,時間の取得など)に対するログを記録します。
		この装置に対する設定画面への接続	チェックを入れることにより設定画面への接続に対するログを記録します。
		この装置に対するその他の接続	チェックを入れることによりその他の接続に対するログを記録します。
		DoS攻撃やポートスキャン	チェックを入れることによりDoS攻撃やポートスキャン等の不正アクセスに対するログを記録します。

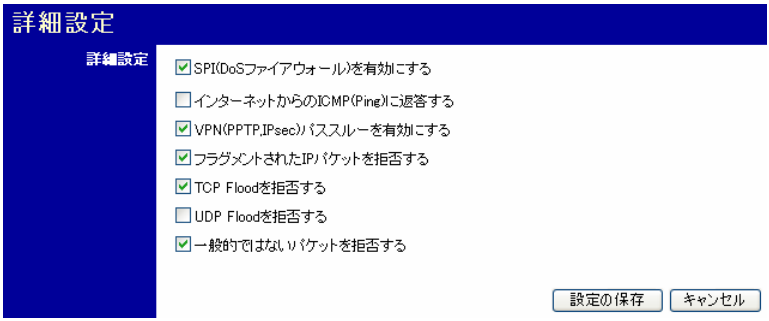
ボタン	説明
ログの表示	それぞれのログを表示します。
ログのクリア	それぞれのログの内容をクリアします。

ログ（つづき）

項目	説明	
Syslog	Syslogを有効にする	チェックを入れることによりSyslogが有効になります。
	Syslogサーバー	Syslogサーバーアドレスを設定します。
	種類	Syslogに送信するログの種類を選択します。

ボタン	説明
設定の保存	入力内容が反映されます。
キャンセル	入力した内容を現在の情報に戻します。

詳細設定



※画面のチェックがデフォルト値です。

項目	説明	
詳細設定	SPI（DoSファイアウォール）を有効にする	チェックを入れることによりSPIが有効になります。
	インターネットからのICMP（Ping）に返答する	チェックを入れることによりICMP(Ping)に返答するようになります。
	VPN（PPTP,IPsec）パススルーを有効にする	チェックを入れることによりVPN(PPTP,IPsec)パススルーが有効になります。
	フラグメントされたIPパケットを拒否する	チェックを入れることによりフラグメントされたIPパケットを拒否するようになります。
	TCP Floodを拒否する	チェックを入れることによりTCP Floodを拒否するようになります。
	UDP Floodを拒否する	チェックを入れることによりUDP Floodを拒否するようになります。
	一般的ではないパケットを拒否する	チェックを入れることにより規格に準拠していないパケット（サイズが異常に大きい、小さいものなど）を拒否するようになります。

ボタン	説明
設定の保存	入力内容が反映されます。
キャンセル	入力した内容を現在の情報に戻します。

VPN(ETX-VR)

VPN(ETX-VR)はETX-VR同士をIPsec接続を利用して、仮想的にLAN間接続を行い、通信を行う機能です。本製品では、１対１でのETX-VR同士の接続のみサポートします。

ポリシー



項目	説明
ポリシー名	ポリシー名を表示します。
有効	該当するポリシーの有効/無効を表示します。 [on]：有効です。 [off]：無効です。
VPNエンドポイント	相手側のエンドポイントを表示します。エンドポイントは相手側のインターネットポートを意味します。
キー	キーの種類を表示します。本製品では[IKE]を使用します。

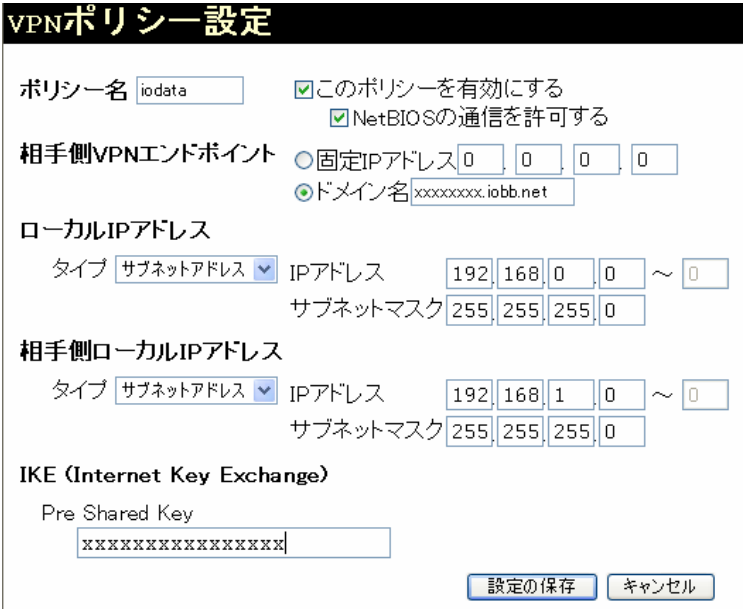
ボタン	説明
[上]ボタン	選択したポリシーを上に移動します。
[下]ボタン	選択したポリシーを下に移動します。
[OK]ボタン	[上][下]ボタンで移動した状態を決定します。
[CANCEL]ボタン	選択したポリシーを削除します。

ポリシー（つづき）

ボタン	説明
編集	選択したポリシーの編集をします。
移動	選択したポリシーを移動します。
有効/無効	選択したポリシーを有効/無効にします。
コピー	選択したポリシー元にしたコピーを作成にします。
削除	選択したポリシーを削除します。
ポリシーの追加	ポリシーを追加します。次ページをご覧ください。
ログの表示	VPNログを表示します。

ポリシー（つづき）

●VPNポリシー設定



項目	説明	
ポリシー名	ポリシー名を任意の半角英数字12文字以内で設定します。	
	このポリシーを有効にする	チェックを入れることによりこのポリシーが有効になります。
	NetBIOSの通信を許可する	チェックを入れることによりNetBIOSの通信をVPNで行えるようになります。
相手側VPNエンドポイント	相手側のエンドポイントを設定します。	
	固定IPアドレス	エンドポイントとして固定IPアドレスを選択します。[固定IPアドレス]を選択した場合は、相手側のインターネット IPアドレスも設定してください。
	ドメイン名	エンドポイントとしてドメイン名を選択します。[ドメイン名]を選択した場合は、相手側のインターネットドメイン名も設定してください。半角英数字25文字以内で設定します。例）xxxxxx.iodata.net

ポリシー（つづき）

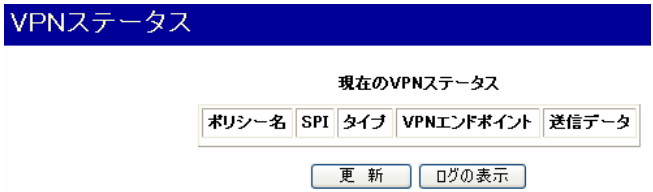
<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>ローカル
IPアドレス</td><td>VPN通信を行うこちら側のLAN側IPアドレスを設定します。
<table>
<tr><td>タイプ</td><td>設定するIPアドレスのタイプを選択します。
<table>
<tr><td>全て</td><td>任意のIPアドレスに対してVPN通信を行います。</td></tr>
<tr><td>単一アドレス</td><td>単一のIPアドレスに対してVPN通信を行います。
[Single address]を選択した場合は[IPアドレス]も設定してください。</td></tr>
<tr><td>範囲アドレス</td><td>IPアドレスの範囲に対してVPN通信を行います。
[Address Range]を選択した場合は[IPアドレス]も設定してください。</td></tr>
<tr><td>サブネットアドレス</td><td>ネットワークに対してVPN通信を行います。
[subnet address]を選択した場合は[IPアドレス][サブネットマスク]も設定してください。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>IPアドレス</td><td>VPN通信を行うIPアドレスを設定します</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>VPN通信を行うサブネットマスクを設定します。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

ポリシー（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>相手側ローカルIPアドレス</td><td>VPN通信を行う相手側のLAN側IPアドレスを設定します。
<table>
<tr><td>タイプ</td><td>設定するIPアドレスのタイプを選択します。
<table>
<tr><td>単一アドレス</td><td>単一のIPアドレスに対してVPN通信を行います。
[Single address]を選択した場合は[IPアドレス]も設定してください。</td></tr>
<tr><td>範囲アドレス</td><td>IPアドレスの範囲に対してVPN通信を行います。
[Address Range]を選択した場合は[IPアドレス]も設定してください。</td></tr>
<tr><td>サブネットアドレス</td><td>ネットワークに対してVPN通信を行います。
[subnet address]を選択した場合は[IPアドレス][サブネットマスク]も設定してください。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>IPアドレス</td><td>VPN通信を行うIPアドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>VPN通信を行うサブネットマスクを設定します。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>IKE （ Internet Key Exchange)</td><td>
<table>
<tr><td>Pre Shared Key</td><td>半角英数字で8～128文字で設定してくださいVPN接続を行う相手側のIKEと合わせる必要があります。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

ボタン	説明
設定の保存	入力内容が反映されます。
キャンセル	入力した内容を現在の情報に戻します。

ステータス



項目	説明
ポリシー名	VPNのポリシー名を表示します。
SPI	VPNの内部的な番号を表示します。
タイプ	キーのタイプを表示します。本製品では[IKE]を使用します。
VPNエンドポイント	VPNのエンドポイントを表示します。
送信データ	送信したデータ数を表示します。

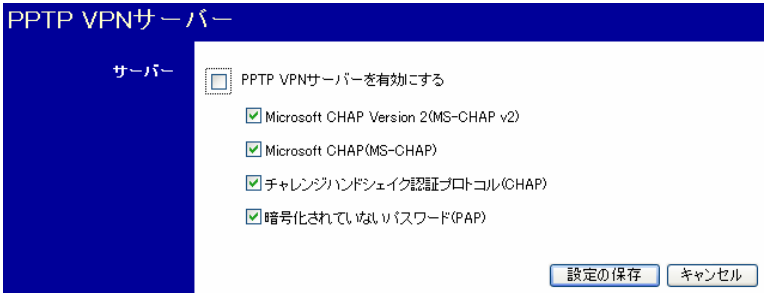
ボタン	説明
更新	情報を更新します。
ログの表示	VPNログを表示します。

PPTP VPN

PPTP VPNサーバーを利用することにより、Windows XPやWindows 2000からVPN接続を利用して、インターネット側よりLAN側ネットワークにアクセスすることができます。

サーバー

PPTP VPNサーバーとして利用する場合に設定します。



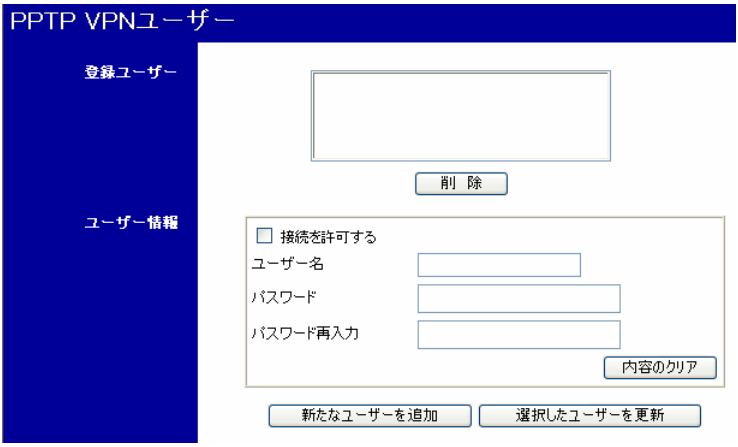
※画面のチェックがデフォルト値です。

項目	説明		
サーバー	PPTP VPNサーバーを有効にする	チェックを入れることによりPPTP VPNサーバーが有効になります。	
		Microsoft CHAP Version 2(MS-CHAP v2)	チェックを入れることによりMS-CHAP v2で認証できるようになります。
		Microsoft CHAP(MS-CHAP)	チェックを入れることによりMS-CHAPで認証できるようになります。
		チャレンジハンドシェイク認証プロトコル(CHAP)	チェックを入れることによりCHAPで認証できるようになります。
		暗号化されていないパスワード(PAP)	チェックを入れることによりPAPで認証できるようになります。

ボタン	説明
設定の保存	入力内容が反映されます。
キャンセル	入力した内容を現在の情報に戻します。

ユーザー

ここで登録したユーザー名とパスワードでWindows XPやWindows 2000からVPN接続します。



項目	説明	
登録ユーザー	登録されているユーザーの一覧を表示します。	
	[削除]ボタン	選択したユーザーを一覧から削除します。
ユーザー情報	接続を許可する	チェックを入れることによりそのユーザーでログインができるようになります。
	ユーザー名	PPTPで接続するユーザー名を半角英数字63文字以内で設定します。
	パスワード	PPTPで接続するパスワードを半角英数字63文字以内で設定します。
	パスワード再入力	PPTPで接続するパスワードを再度入力します。
	[内容をクリア]ボタン	入力した内容をクリアします。

ボタン	説明
新たなユーザーを追加	新しいユーザーとして一覧に追加します。
選択したユーザーを更新	選択したユーザーを新しい情報で登録します。

※ユーザーは最大10エントリー登録できます。

PPTPを利用した接続を行う場合のPC設定方法

参考

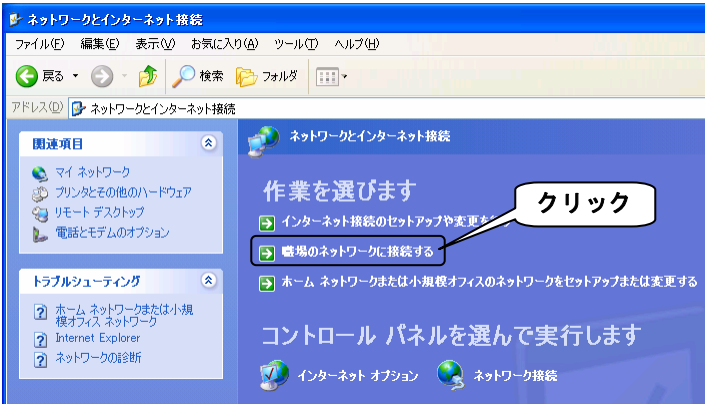
Windows XPやWindows 2000のPPTP接続の方法は、Windowsヘルプをご覧ください。以下はWindows XPの接続例です。

●Windows XPでの接続例

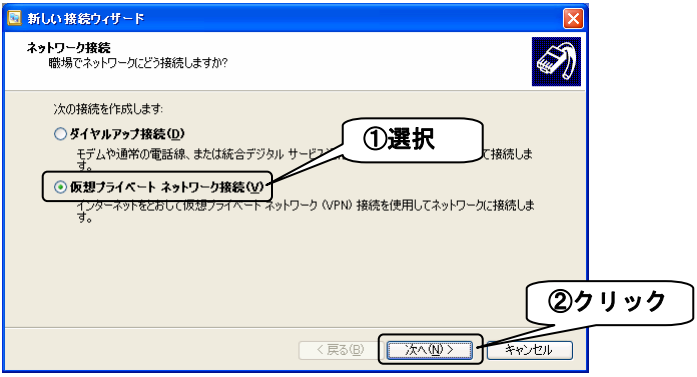
1 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。

2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

3 [職場のネットワークに接続する]をクリックします。



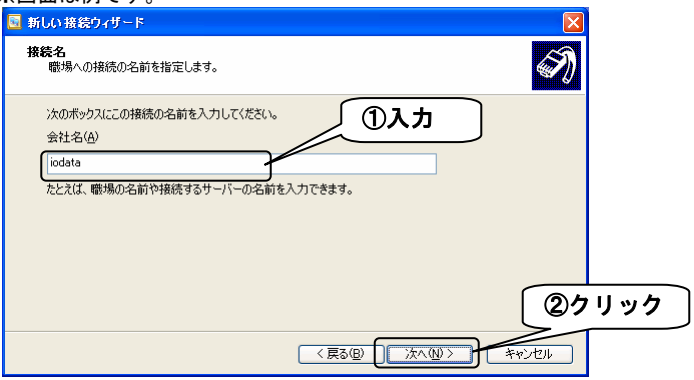
4 [仮想プライベートネットワーク接続]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



PPTPを利用した接続を行う場合のPC設定方法（つづき）

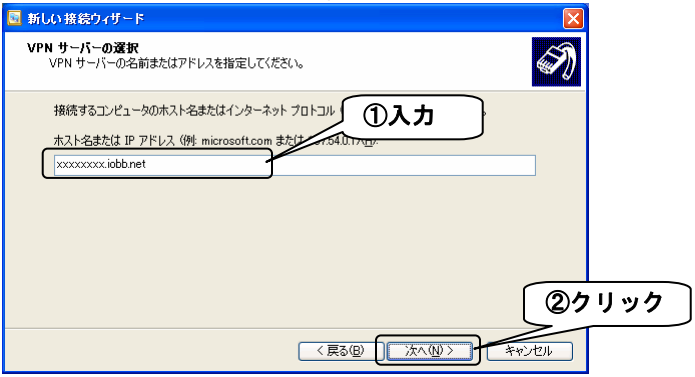
5 [会社名]に任意の名称を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

※画面は例です。



6 ダイナミックDNSで登録したホスト名を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

※ルーターのWAN側IPアドレスでも接続できます。

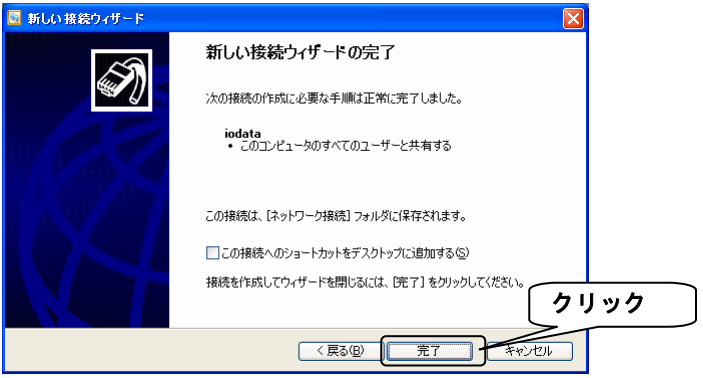


参考

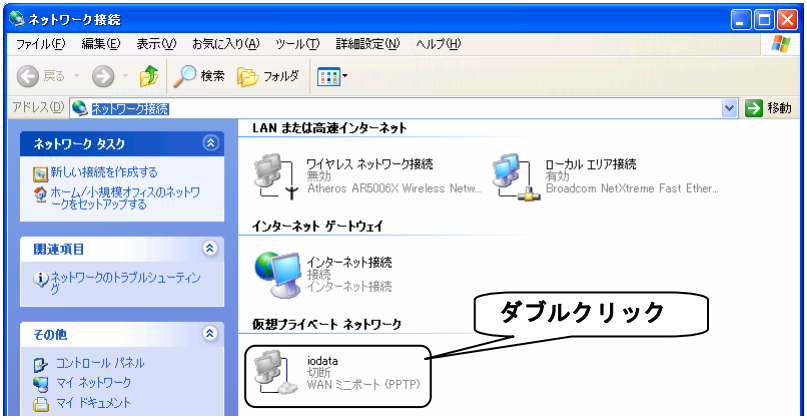
ダイナミック DNS の登録については、【ダイナミック DNS】（49ページ）をご覧ください。

PPTPを利用した接続を行う場合のPC設定方法（つづき）

7 [完了]ボタンをクリックして、設定完了です。



8 次に、設定が正常に行われているかの確認をします。
[マイネットワーク]を右クリックして、表示されたメニューから[プロパティ]をクリックします。
表示された画面に、[仮想プライベートネットワーク]が表示されていることを確認します。
確認できたら、アイコンをダブルクリックします。



PPTPを利用した接続を行う場合のPC設定方法（つづき）

9 VPN接続するルーターに設定した[ユーザー名][パスワード]を入力し、[接続]ボタンをクリックすると、接続できます。



これで接続完了です。

注意！

VPN 接続でデータを送受信中にインターネット接続が切断された場合は、データが消失する場合があります。データが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

ステータス



項目	説明		
ステータス	ステータス	PPTPサーバーのステータスを表示します。	
		[on]	PPTPサーバーが動作しています。
		[off]	PPTPサーバーが停止しています。
	現在の接続	PPTPサーバーに接続しているユーザー数を表示します。	
ログ			

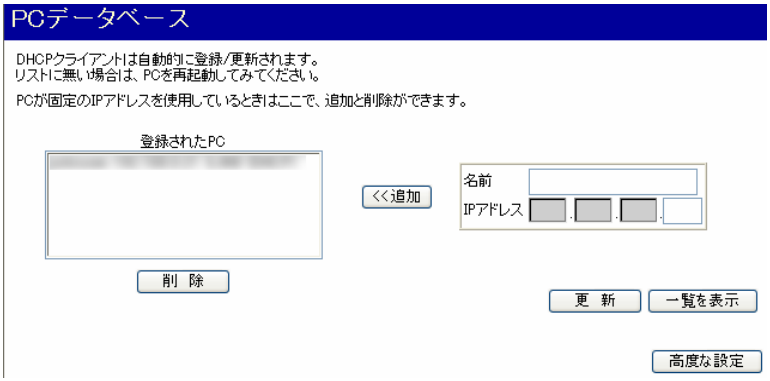
ボタン	説明
ログのクリア	ログの内容をクリアします。
更新	ログの内容を最新の状態に更新します。

その他

IPを固定して利用する場合や、DMZポートを利用するPCをここで登録します。

PCデータベース

●通常設定



PCを登録する

1 [名前]、[IPアドレス]を入力します。

2 [追加]ボタンをクリックします。

※最大100エントリー登録できます。

PCを削除する

1 [登録されたPC]から削除したいPCをクリックして選択します。

2 [削除]ボタンをクリックします。

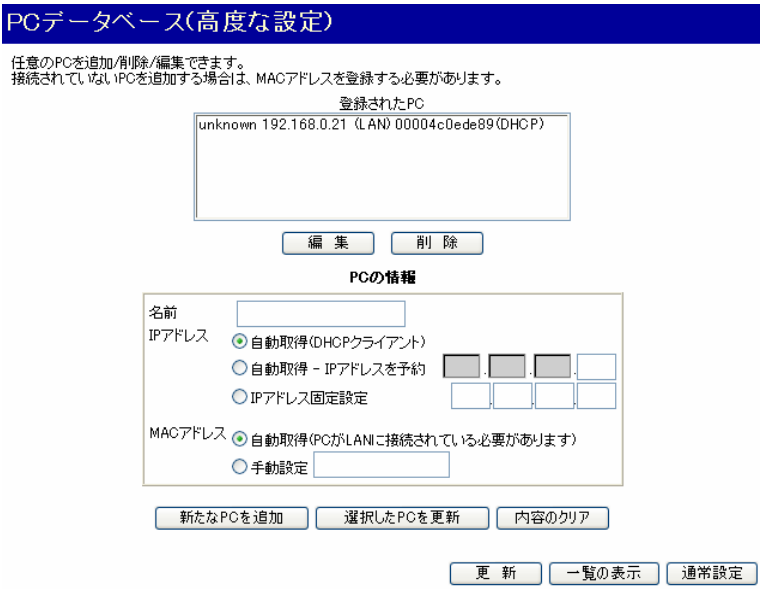
PCデータベース（つづき）

項目	説明
登録されたPC	登録されているPCの一覧を表示します。 本製品のDHCPサーバーで割り当てたクライアントは自動的に登録されます。
[削除]ボタン	選択したPCを一覧から削除します。
名前	登録するPCの名前を設定します。
IPアドレス	登録するPCのIPアドレスを設定します。
[追加]ボタン	一覧にPCを追加します。

ボタン	説明
更新	一覧の内容を最新の状態に更新します。
一覧を表示	登録されているPCの一覧を表示します。
高度な設定	高度な設定を行うための画面に移動します。

PCデータベース（つづき）

●高度な設定



PCを登録する

1 [PCの情報]を入力します。

2 [新たなPCを追加]ボタンをクリックします。

PCを削除する

1 [登録されたPC]から削除したいPCをクリックして選択します。

2 [削除]ボタンをクリックします。

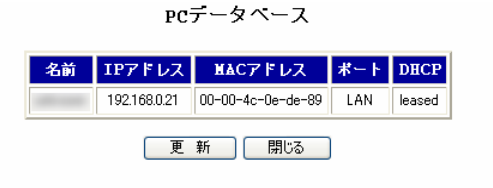
PCデータベース（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>登録されたPC</td><td>登録されているPCの一覧を表示します。
本製品のDHCPサーバーで割り当てたクライアントは自動的に登録されます。</td></tr>
<tr><td>[編集]ボタン</td><td>選択したPCの内容をPCの情報に表示します。</td></tr>
<tr><td>[削除]ボタン</td><td>選択したPCを一覧から削除します。</td></tr>
<tr><td>PCの情報</td><td>
<table>
<tr><td>名前</td><td>登録するPCの名前を半角英数15文字以内で設定します。</td></tr>
<tr><td>IP
アドレス</td><td>登録するPCのIPアドレスを設定します。
<table>
<tr><td>自動取得(DHCPクライアント)</td><td>DHCPサーバーによってIPアドレスを割り当てる場合に選択します。IPアドレスはDHCPサーバーの割り当てに従って変わります。</td></tr>
<tr><td>自動取得 - IPアドレスを予約</td><td>DHCPサーバーによってIPアドレスを割り当てる場合に選択します。ここを選択した場合は、予約するIPアドレスも設定してください。IPアドレスはDHCPサーバーによって設定されたアドレスを割り当てます。</td></tr>
<tr><td>IPアドレス固定設定</td><td>IPアドレスを固定設定している場合に選択します。
ここを選択した場合は、固定設定されているIPアドレスも設定してください。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>MAC
アドレス</td><td>登録するPCのMACアドレスを設定します。
<table>
<tr><td>自動取得(PCがLANに接続されている必要があります)</td><td>MACアドレスを自動的に取得する場合に選択します。PCがLANに接続されている必要があります。</td></tr>
<tr><td>自動取得 - IPアドレスを予約</td><td>MACアドレスを手動で設定する場合に選択します。ここを選択した場合は、手動設定するMACアドレスも設定してください。ハイフン(-)は入れないでください。</td></tr>
</table></td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

PCデータベース（つづき）

ボタン	説明
新たなPCを追加	一覧にPCを追加します。
選択したPCを更新	選択したPCを新しい情報で登録します。
内容をクリア	PCの情報をクリアします。
更新	一覧の内容を最新の状態に更新します。
一覧を表示	登録されているPCの一覧を表示します。
通常設定	通常設定の画面に移動します。

●PCデータベース一覧



項目	説明
名前	PCの名前を表示します。
IPアドレス	PCのIPアドレスを表示します。
MACアドレス	PCのMACアドレスを表示します。
ポート	接続されているポートを表示します。
DHCP	DHCPで割り当てられているかを表示します。

leased	DHCPでIPアドレスが割り当てられています。
fixed	IPアドレス固定です。
reserved	予約したIPアドレスです。

ボタン	説明
更新	内容を更新します。
閉じる	この画面を閉じます。

ルーティング



項目	説明		
RIP	RIPバージョン	RIPのバージョンを選択します。	
		Disabled	RIPを無効にします。
		RIP_1	RIP 1を使用します。
		RIP_2B	RIP 2を使用します。 アナウンスにブロードキャストを使用します。
		RIP_2M	RIP 2を使用します。 アナウンスにマルチキャストを使用します。
	設定の保存	設定を保存します。	

ルーティング（つづき）

<table>
<tr><th>項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="5">スタティック</td><td>スタティックルーティングエントリー</td><td>登録されているスタティックルーティングの一覧を表示します。</td></tr>
<tr><td>情報</td><td>
<table>
<tr><td>宛先ネットワーク</td><td>宛先ネットワークアドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>ネットワークマスク</td><td>ネットワークマスクを設定します。</td></tr>
<tr><td>ゲートウェイIPアドレス</td><td>ゲートウェイになるIPアドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td>インターフェイス</td><td>インターフェイスを選択します。
・LAN
LAN側に存在します。
・INTERNET
INTERNET側に存在します。</td></tr>
<tr><td>メトリック</td><td>メトリックを設定します。（2～15）</td></tr>
<tr><td>[内容をクリア]ボタン</td><td>情報をクリアします。</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>[追加]ボタン</td><td>一覧にルーティングを追加します。</td></tr>
<tr><td>[更新]ボタン</td><td>選択したルーティングを新しい情報で登録します。</td></tr>
<tr><td>[削除]ボタン</td><td>選択したルーティングを一覧から削除します。</td></tr>
</table>

ボタン	説明
一覧を表示	すべてのルーティングテーブルに関しての一覧を表示します。

※最大20エントリー登録できます。

ルーティング（つづき）

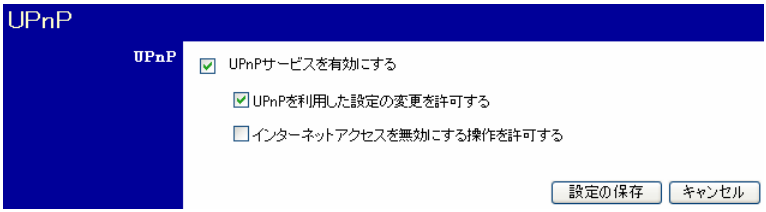
●ルーティングテーブル

本製品のルーティングテーブルを表示することができます。



項目	説明
宛先	宛先のIPアドレスグループを表示します。
マスク	宛先のサブネットマスクを表示します。
ゲートウェイ	宛先のゲートウェイアドレスを表示します。
メトリック	メトリックを表示します。

UPnP

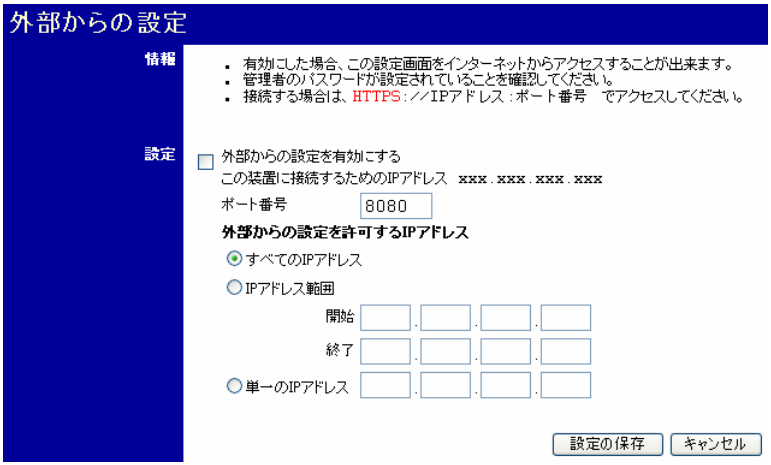


※画面のチェックがデフォルト値です。

項目	説明		
UPnP	UPnPサービスを有効にする	チェックを入れることによりUPnPサービスが有効になります。	
		UPnPを利用した設定の変更を許可する	チェックを入れることによりUPnPを利用した設定の変更を許可します。
		インターネットアクセスを無効にする操作を許可する	チェックを入れることによりインターネットアクセスを無効にする操作を許可します。

ボタン	説明
設定の保存	入力内容が反映されます。
キャンセル	入力した内容を現在の情報に戻します。

外部からの設定

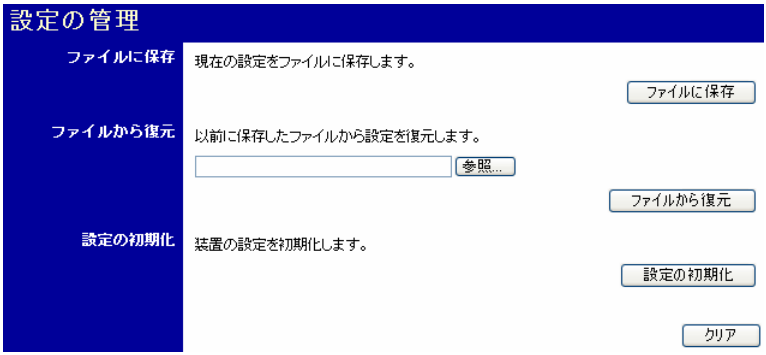


項目	説明		
設定	外部からの設定を有効にする	チェックを入れることにより外部からの本製品の設定変更を有効にします。	
		この装置に接続するためのIPアドレス	この装置に接続するためのIPアドレスを表示します。
		ポート番号	この装置に接続するためのポート番号を設定します。 設定できる範囲は 1024～65534 です。 ※デフォルトは 8080
		外部からの設定を許可するIPアドレス	外部からの設定を許可するIPアドレスを選択します。 すべてのIPアドレス：すべてのIPアドレスに対して設定を許可します。 IPアドレス範囲：IPアドレス範囲に対して設定を許可します。ここを選択した場合は、開始と終了のIPアドレスも設定してください。 単一のIPアドレス：単一のIPアドレスに対して設定を許可します。ここを選択した場合は、IPアドレスも設定してください。

外部からの設定（つづき）

ボタン	説明
設定の保存	入力内容が反映されます。
キャンセル	入力した内容を現在の情報に戻します。

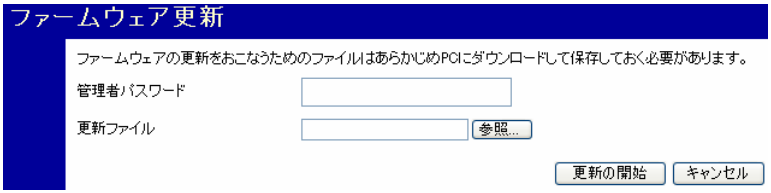
設定の管理



項目	説明
ファイルに保存	現在の設定をファイルに保存します。 [ファイルに保存]ボタンをクリックして、ファイルを保存する場所を指定してください。
ファイルから復元	以前に保存したファイルから設定を復元します。 復元するファイルを選択した後、[ファイルから復元]ボタンをクリックしてください。
設定の初期化	装置の設定を初期化して工場出荷時に戻します。 [設定の初期化]ボタンをクリックすると設定が初期化されます。

ボタン	説明
クリア	表示内容を消去します。

ファームウェア更新



項目	説明
管理者パスワード	管理者のパスワードを入力します。
更新ファイル	更新するファイルを選択します。

ボタン	説明
更新の開始	クリックすると、ファームウェアの更新が開始され、更新が終了すると本製品は自動的に再起動します。
キャンセル	ファームウェア更新をキャンセルします。



参考

ファームウェアファイルは、弊社ホームページのサポートライブラリから入手できます。
サポートライブラリ⇒http://www.iodata.jp/lib/



注意！

●ファームウェアの更新が開始すると、インターネット接続は切断されます。
●ファームウェアの更新中は、電源を切ったり、再起動しないでください。

その他

出荷時設定に戻す

パスワードを忘れてしまったときなどに、本製品の設定を出荷時設定に戻します。（初期化）

94ページ

困ったときには

本製品を使用して異常があった場合にご覧ください。

95ページ

仕様

本製品の仕様です。

114ページ

アフターサービス

本製品の問い合わせ先、修理のご案内です。

116ページ

出荷時設定に戻す

本製品のIPアドレスを忘れてしまったときなどに、本製品を出荷時設定に戻します。

注意！

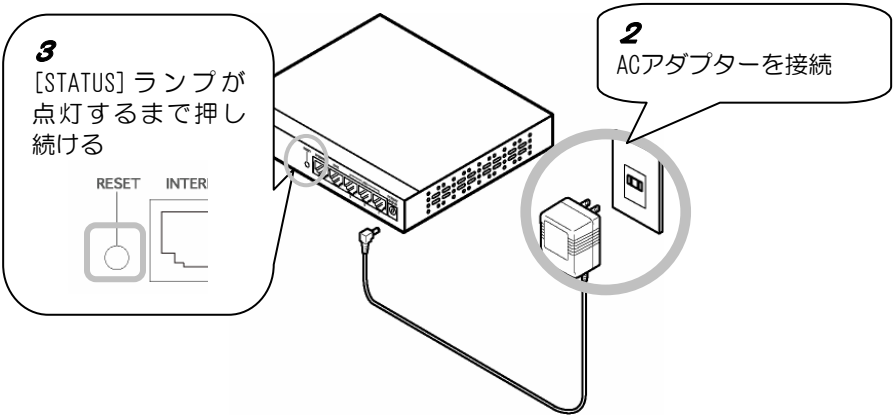
以下の手順を行うと、設定内容はすべて出荷時設定に戻ります。

●リセットスイッチで戻す

1 **本製品に接続しているACアダプターとLANケーブルをすべて取り外します。**

2 **ACアダプターを接続し、[STATUS]ランプが消灯し、[POWER]ランプのみが点灯していることを確認します。**
点灯した[STATUS]ランプが消灯するまで、約3秒かかります。

3 **細いピンなどでRESETスイッチを[STATUS]ランプが点灯するまで押し続けます。**



4 **[STATUS]ランプが点灯し約3秒経過後、RESETスイッチを離します。**
→本製品が再起動します。[POWER]ランプのみが点灯している状態になったら、再起動完了です。
これで、出荷時設定に変更されました。

●Web設定画面で戻す

Web設定画面で行います。詳しくは、【設定の管理】91ページをご覧ください。

困ったときには

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考にしてください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A Newsなど

ファームウェアをバージョンアップすると解決することがあります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のファームウェアをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新ファームウェア

【設定時のトラブル】

状態	参照ページ
ランプが点灯しない	97
ブラウザを起動すると、以下のエラーが表示される *「モデムが正しく応答していません。モデムが電話回線およびコンピュータに正しく接続されているかどうかを確認してください。」*	97
CATV 局がユーザーを［コンピュータ名］で管理している場合の設定方法がわからない	98
PPPoE 接続で取得したグローバル IP アドレスを調べたい	98
パソコンを IP アドレスなどの自動取得（DHCP クライアント）として設定しているのに、IP アドレスなどを取得できない	98
LAN 側の IP アドレスを変更したら接続できなくなった	99
[TCP/IP]が表示されていない	100
本製品に 4 台以上接続したい場合	101

【設定画面に関するトラブル】

状態	参照ページ
設定画面が表示されない	102
パスワードを入力しても、設定画面が起動しない	106
パスワードを忘れてしまった	106
設定画面で文字が入力できない	106

【インターネット接続時のトラブル】

状態	参照ページ
PPPoE 認証でインターネットに接続できない（[Failed]と表示される）	107
IP アドレス自動取得/固定設定接続でインターネットに接続できない（[Failed]と表示される）	108
2 台目以降のパソコンがインターネットに接続できない	109

【その他】

状態	参照ページ
ダイナミック DNS サービス「iobb.net」に登録したが、実際にアクセスできない	110
本製品同士の VPN 接続ができない	111
ネットワークゲームやサーバーを公開したい	112
[マイネットワーク]を開いても、VPN 接続が確認できない	113

ランプが点灯しない

原因１	《[POWER]ランプが点灯しない場合》 ACアダプターを取り付けていない
対処	付属のACアダプターを取り付けてください。ACアダプターは必ず付属のものをご使用ください。ACアダプターを抜いた直後は、5秒以上待ってから取り付けてください。

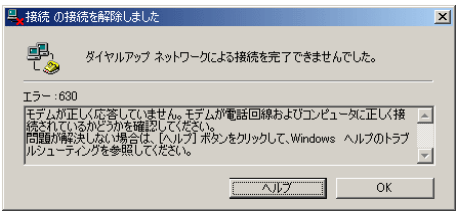
原因２	《[INTERNET]ランプが点灯しない場合》 [INTERNET]ポートに取り付けたモデムのLANケーブルが正しく接続されていない、または、モデムの電源が入っていない
対処	[INTERNET]ポートとモデムの接続と、モデムの電源が入っていることをご確認ください。

原因３	《[LAN]ランプ(1～3)、DMZが点灯しない場合》 [LAN]ポート(1～3)、DMZに取り付けたパソコンのLANケーブルが正しく接続できていない、パソコンの電源が入っていない
対処	パソコンの接続と電源が入っていることをご確認ください。また、他のLANケーブルと交換してみてください。

ブラウザを起動すると、以下のエラーが表示される

「モデムが正しく応答していません。モデムが電話回線およびコンピュータに正しく接続されているかどうかを確認してください。」（以下の画面）

▼Windows Meでの画面例



原因	Webブラウザがダイヤルアップする設定となっている。
対処	【設定画面が表示されない】の原因６(104ページ)をご覧ください。

CATV局がユーザーを［コンピュータ名］で管理している場合の設定方法がわからない

対処	CATV局からの［コンピュータ名］を、本製品の［ホスト名］に設定してください。（[インターネット]→[接続設定]→[ホスト名]で設定してください。）

PPPoE接続で取得したグローバルIPアドレスを調べたい

対処	設定メニューから［ステータス］の[接続ステータス]をクリックします。PPPoEで取得したグローバルIPアドレス（[インターネットIPアドレス]）、プロバイダー側でゲートとなっているパソコンのグローバルIPアドレス、DNS(ネーム)サーバーアドレスを確認できます。

パソコンをIPアドレスなどの自動取得（DHCPクライアント）として設定しているのに、IPアドレスなどを取得できない

原因	ネットワークの設定に問題がある
対処	本製品の[1]～[3]ランプ(LAN)が正しく点灯している場合は、以下の対処が考えられます。 ⇒103ページのアドレスの解放と更新を行う。 ⇒LAN アダプターのドライバを最新のものへ更新する。 （ドライバの更新方法については LAN アダプターのメーカーへお問い合わせください。） ⇒パソコンとの間にスイッチングハブがある場合は、スイッチングハブを初期化する。（スイッチングハブの初期化方法についてはスイッチングハブのメーカーへお問い合わせください。） ⇒本製品を再起動する。（AC アダプターを抜き差ししてください。） ⇒セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。 これらの方法でも DHCP クライアントとして IP アドレスなどを取得することができない場合は、固定（手入力）でネットワークの設定を行ってください。なお、固定でネットワークの設定を行う場合は、ネットワークアドレスを合わせる必要があります。 デフォルト値（工場出荷時設定値）で運用する場合は、TCP/IP設定に次ページの値を使用します。

対処	**●ETX-VR モデルAの場合** **IPアドレス：192.168.0.2～192.168.0.254で、他の機器と重複しない任意のIPアドレス** **サブネットマスク：255.255.255.0** **デフォルトゲートウェイ（ルーターアドレス）：192.168.0.1** **DNSアドレス：192.168.0.1** **●ETX-VR モデルBの場合** **IPアドレス：192.168.1.2～192.168.1.254で、他の機器と重複しない任意のIPアドレス** **サブネットマスク：255.255.255.0** **デフォルトゲートウェイ（ルーターアドレス）：192.168.1.1** **DNSアドレス：192.168.1.1**

LAN側のIPアドレスを変更したら接続できなくなった

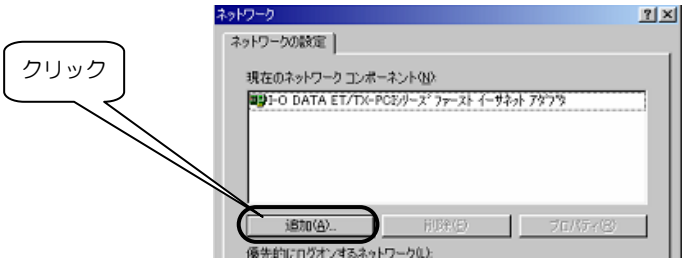
対処	**・パソコンに固定でIPアドレスを設定している場合** ①パソコンのIPアドレスには、新しく設定した（変更した）ルーターのLAN側IPアドレスと同じネットワーククラスのIPアドレスを設定してください。 ②パソコンのゲートウェイ（ルーターアドレス）とDNSアドレスには、新しく設定した（変更した）ルーターのLAN側IPアドレスを設定してください。 **・パソコンにIPアドレスを自動的に取得させている場合** パソコンの再起動、または、パソコンが自動的に取得しているアドレスの解放と書き換えを行ってください。 （【IPアドレスの解放と更新方法】（103ページ）参照）

[TCP/IP]が表示されていない　(Windows Me/98の場合)

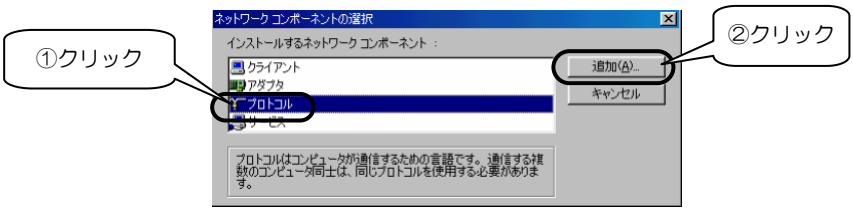
原因	TCP/IPプロトコルがインストールされていない。
対処	下記の手順でTCP/IPをインストールします。

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックし、[ネットワーク]アイコンをダブルクリックします。

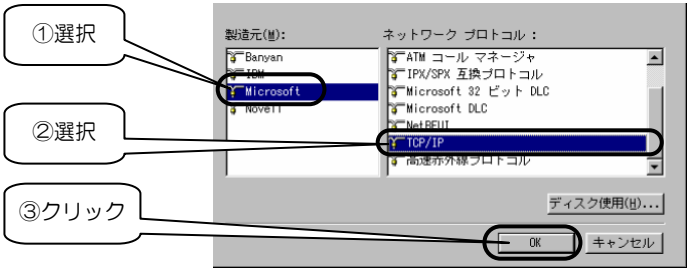
2 [追加]ボタンをクリックします。
※以下の画面は、弊社製ET/TX-PCIシリーズを例にしています。



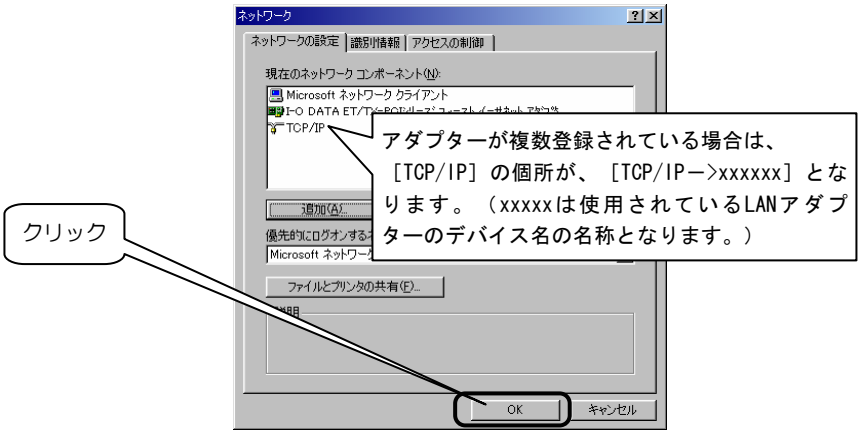
3 [プロトコル]を選択し、[追加]ボタンをクリックします。



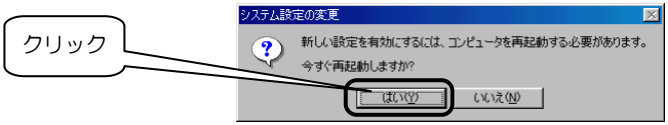
4 [Microsoft]の[TCP/IP]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



5 [OK]ボタンをクリックします。



6 [はい]ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。



本製品に4台以上接続したい場合

対処	別途ハブをご用意ください。LANケーブルを使って、本製品の空いているLANポートにハブのLANポートを接続してください。

設定画面が表示されない

原因１	接続が正しくない
対処	【①本製品を設置し、電源を入れる】（18ページ）をご覧になり、接続が正しいことをご確認ください。
原因２	セキュリティ関連のソフトウェアをインストールしている。
対処	セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。詳しくは、セキュリティ関連のソフトウェアメーカにお問い合わせください。
原因３	本製品のIPアドレスが初期値から変更された
対処	パソコンのIPアドレスを確認し、「デフォルトゲートウェイ」「DHCPサーバー」欄のIPアドレスをWebブラウザに入力し、[Enter]キーを押してください。
原因４	IPアドレスが正常に取得できていない
対処	現在、設定用パソコンで取得しているIPアドレスをいったん解放し、再取得します。次ページの参考にしたがってください。
原因５	本製品の起動に失敗した。 ※本製品のランプ表示が以下の場合は、起動に失敗しています。 **POWER ランプ：消灯** **STATUS ランプ：点灯（橙）** **LAN1～3、DMZ の LINK/ACT ランプと 100 ランプ：点灯（緑）** **INTERNET：点灯（緑）**
対処	ACアダプターを抜いて再度取り付けてください。 ACアダプターを抜いた直後は、5秒以上待ってから取り付けてください。



●IPアドレスの解放と更新方法

《Windows XP/2000の場合》

①コマンドプロンプトを起動します。
・Windows XPの場合
［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→
［コマンドプロンプト］を順にクリックして起動します。
・Windows 2000の場合
［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［コマンドプロンプト］
を順にクリックして起動します。
②IPCONFIG -RELEASE　と入力し、[Enter]キーを押します。
→IPアドレスなどがすべて0.0.0.0になります。
③IPCONFIG -RENEW　と入力し、[Enter]キーを押します。
→IPアドレスを再取得します。
④IPCONFIG -ALL　と入力し、[Enter]キーを押します。
→IPアドレスをご確認ください。

《Windows Me/98 SEの場合》

①WINIPCFGを起動します。
［スタート］→［ファイル名を指定して実行］をクリックして、WINIPCFG
と入力し、[OK]ボタンをクリックします。
②[すべて解放]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックします。
③パソコンを再起動します。

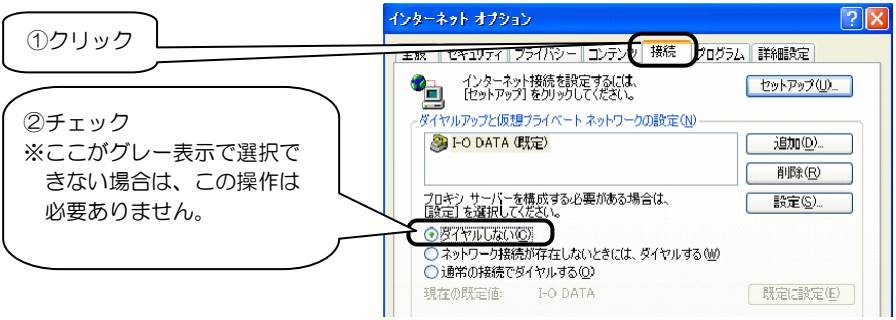
原因６	Webブラウザがダイヤルアップする設定になっている。
対処	下記の手順にしたがってください。

1 ［Internet Explorer］画面の［ツール］メニューの［インターネット オプション］をクリックします。

※本手順以降、画面は［Internet Explorer 6.0］を例にしています。



2 ［接続］タブをクリックし、［ダイヤルしない］をチェックします。



これで設定は完了です。

原因７	Webブラウザが、プロキシ経由でインターネット接続するようになっている。
対処	ブラウザがプロキシサーバーを使用する設定になっている場合、本製品の設定画面を呼び出す事ができません。 本製品の設定を行う前間一時的に、ブラウザの設定でプロキシサーバーを使わない設定にしてください。 次ページをご覧ください。



注意！

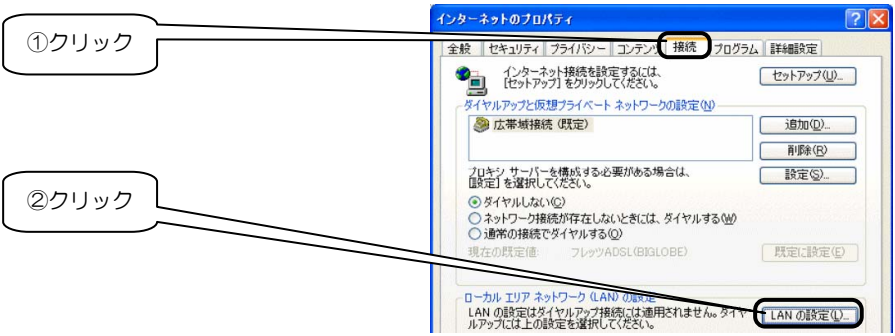
プロキシを変更した場合は、本製品の設定終了後に元に戻してください。

プロキシの設定をする

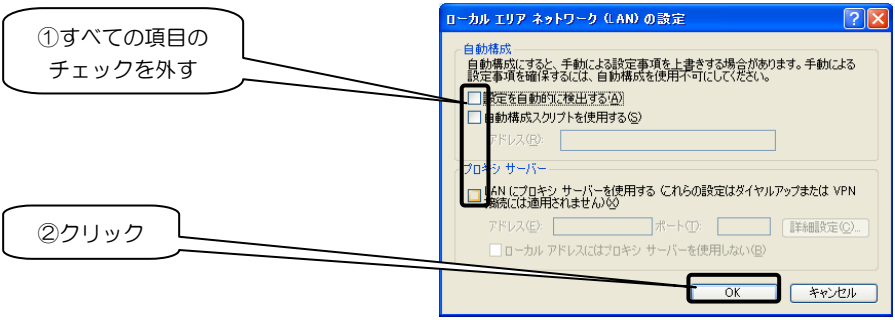
1 Internet Explorerを起動し、[ツール]メニューの[インターネット オプション]をクリックします。
※本手順以降、画面は［Internet Explorer 6.0］を例にしています。



2 [接続]タブをクリックし、[LANの設定]ボタンをクリックします。

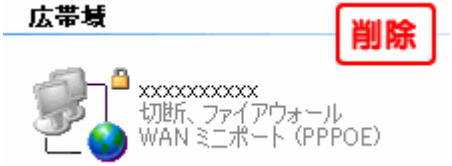


3 下記の設定を行います。



4 [インターネット オプション](または[インターネットのオプション])へ戻りますので、[OK]ボタンをクリックし、画面を閉じます。

これで設定は完了です。

原因８	PPPoEの広帯域接続を使用している
対処	「ネットワーク接続」で「広帯域」を削除してください。 

パスワードを入力しても、設定画面が起動しない

原因	パスワードが間違っている。
対処	パスワードを変更した場合は、新しいパスワードを入力してください。（大/小文字もご確認ください。）パスワードを忘れてしまった場合は、【パスワードを忘れてしまった】（下記）をご覧ください。

パスワードを忘れてしまった

対処	【出荷時設定に戻す】（94ページ）で、出荷時設定に戻してください。出荷時設定では、パスワードは設定されてません。 また、その他の設定も初期化されますので、再設定してください。

設定画面で文字が入力できない

原因１	入力個所をクリックしていない。
対処	一度入力したい個所をクリックしてから入力してください。
原因２	入力できない文字を入力しようとしている。
対処	入力できる文字（半角英数字）かを確認してから入力してください。

PPPoE認証でインターネットに接続できない（[Failed]と表示される）

原因１	モデム(ONU)が正しく接続されていない。
対処	本製品の[INTERNET]ランプが点灯していることをご確認ください。 点灯していない場合は、モデム(ONU)が本製品の[INTERNET]ポートに接続されていることと、電源が入っていることをご確認ください。 モデムのファームウェアをアップデートできる場合は、ファームウェアアップデートしてください。方法については、モデムの取扱説明書をご覧ください。
原因２	[INTERNET]側でPPPoE接続の設定が有効になっていない。
対処	設定画面の[インターネット]→[接続設定]→[認証接続(PPPoE)]で［接続ユーザー名］と［接続パスワード］などの設定を再度確認してください。（NTTフレッツシリーズの場合、ユーザー名は、@ から後ろもすべて入力します。大文字/小文字の間違いが無いことも確認します。） 「接続ユーザー名」「接続パスワード」を設定し直す場合は、入力されている文字列を削除してから、再入力してください。
原因３	本製品に接続したパソコンのTCP/IP設定に誤りがある。
対処	パソコンのTCP/IP設定をご確認ください。 ⇒本製品のDHCP機能を利用して、IPアドレスを自動的に取得している場合は、IPアドレスの解放と書き換えを行ってください。 （103ページの【参考】をご覧ください。） ⇒IPアドレスを固定で設定している場合は、パソコンに設定したIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーのアドレスを確認してください。
原因４	ADSLモデム(ブリッジタイプ)を使用するが、PPPoE認証を使用しないプロバイダーである。
対処	PPPoE認証を行わない場合は、ADSLモデム(ブリッジタイプ)であってもPPPoEの設定を行う必要はありません。 設定画面の[インターネット]→[接続設定]→[IPアドレスを自動的に取得する]/[固定IPアドレス]で設定してください。（31または33ページ参照）

原因５	使用しているADSLモデムがルータータイプのモデムである。
対処	ルータータイプのADSLモデムと接続する場合には、PPPoEの設定を行う必要はありません。 設定画面の[インターネット]→[接続設定]→[IPアドレスを自動的に取得する]/[固定IPアドレス]で設定してください。(31または33ページ参照)

原因６	回線が不安定である。
対処	モデムを再起動（リセット）してみてください。方法についてはモデムの取扱説明書をご覧ください。 その後インターネットに接続できるかをご確認ください。 接続できない場合は、リセット後モデムの電源を切り、しばらく時間をおいてからお試しください。

原因７	DNSサーバーのアドレスがプロバイダーより指定されている
対処	設定画面の[インターネット]→[接続設定]の[DNSサーバー]で、プロバイダーから指定されているDNSサーバーのIPアドレスを入力してください。

原因８	PPPoE接続ツールがインストールされている
対処	PPPoE接続ツールがインストールされている場合は、削除してください。

IPアドレス自動取得/固定設定接続でインターネットに接続できない（[Failed]と表示される）

原因１	回線が不安定である。
対処	モデムを再起動（リセット）や電源の再投入をしてみてください。方法についてはモデムの取扱説明書をご覧ください。 その後、インターネットに接続できるかをご確認ください。 接続できない場合は、リセット後モデムの電源を切り、しばらく時間をおいてからお試しください。

原因２	（Cタイプ：IPアドレス固定設定接続の場合のみ） [INTERNET]ポートにIPアドレスが設定されていない。
対処	設定画面で本製品のINTERNET側IPアドレスをプロバイダー指定のものに設定してください。設定画面の[インターネット]→[接続設定]→[IPアドレス固定設定接続]で設定してください。（33ページ参照）

原因３	本製品に接続したパソコンのTCP/IP設定に誤りがある。
対処	パソコンのTCP/IP設定をご確認ください。 ⇒本製品のDHCP機能を利用して、IPアドレスを自動的に取得している場合は、IPアドレスの解放と書き換えを行ってください。 （103ページの【参考】をご覧ください。） ⇒IPアドレスを固定で設定している場合は、パソコンに設定したIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーのアドレスを確認してください。

原因４	プロバイダーからIPアドレスを取得できていない。
対処	プロバイダーによっては、MACアドレスを登録したネットワーク機器しか接続できない場合があります。 MACアドレスは、LANボード/カードや本製品などにそれぞれ別々の値が設定されていますが、プロバイダー側が本製品導入以前に接続していたパソコンのLANボード/カードのMACアドレスを登録したままにしていると、本製品を導入してもプロバイダー側が本製品のMACアドレスを認識しません。プロバイダーへ本製品のMACアドレスに登録を変更する手続きを行ってください。 本製品INTERNET側のMACアドレスは本体背面のシールか、設定メニューの[ステータス]の[接続ステータス]で確認することができます。

2台目以降のパソコンがインターネットに接続できない

原因	パソコンのIPアドレスが、DHCPサーバーから取得になっていない。
対処	パソコンのIPアドレスが、DHCPサーバーから取得になっていることをご確認ください。

ダイナミックDNSサービス「iobb.net」に登録したが、実際にアクセスできない

対処

次の①～⑤をご確認ください。

①「iobb.net」のユーザー登録が完了していることを確認します。

ユーザー登録を申込むと、最初にメールが届きます。
このメールに記載されたURLに24時間以内でアクセスしないと本登録、サービス開始が行われません。
本登録、サービス開始後に、[申込みのご案内][開始のご案内]の計２通のメールが届いていることをご確認ください。

②本製品つないでいるモデムがルータータイプのモデムでないことを確認します。

ご利用のモデムがルータータイプのモデムの場合など、ルーターのINTERNET側IPアドレスがローカルIPアドレスの場合は、ダイナミックDNS機能をご利用いただくことができません。

※モデムがルータータイプかどうかを確認するには、モデムの取扱説明書をご確認いただくか、プロバイダーにご確認ください。

③次の本製品の設定内容を確認します。

(1)本製品の設定画面を開き、[インターネット]→[ダイナミックDNS]をクリックします。
(2)[サービス名]で[iobb.net]が選択されていることを確認します。
(3)[シリアル番号]に本製品のシリアル番号(半角英数字[大文字]で12桁)が入力されていることを確認します。

※シリアル番号が記載されたシールが本製品側面に貼られていますので、こちらをご確認ください。

(4)[パスワード]にiobb.netに登録したパスワードが正確に入力されていることを確認します。

※パスワードを忘れた場合は、http://www.iobb.net にアクセスして「パスワードの問い合わせはこちら」というリンクから、製品のシリアル番号(ユーザーID)を入力することで、登録時に入力したメールアドレス宛にパスワードが届きます。
サポートセンターへの電話・FAX・メールでの問い合わせは、お答えしておりませんのでご注意ください。

対処	(5)[ホスト名]にダイナミックDNSサーバーに登録した[ホスト名]が入力されていることを確認します。 （xxx.iobb.netのxxxの部分がホスト名になります） **④外部の環境から実際にアクセスしているか確認します。** アクセスしようとしているサーバーと同じLAN内のパソコンからはドメイン名ではアクセスができません。外部の別のネットワークよりアクセスできることをお試しください。 **⑤グローバルIPアドレスで接続できるか確認します。**

本製品同士のVPN接続ができない

対処	次の①～⑥をご確認ください。 **①「VPNポリシー」の設定で、「このポリシーを有効にする」の設定にチェックが入っていることを確認します。** **②「VPNポリシー」の設定で、「相手側VPNエンドポイント」の設定が正しいことを確認します。** **③「VPNポリシー」の設定で、「ローカルIPアドレス」と「相手側ローカルIPアドレス」の設定が正しいことを確認します。** **④「VPNポリシー」の設定で、「IKE」の設定が接続する両方の機器で同じ設定になっていることを確認します。** **⑤（iobb.netでホスト名を取得している場合） 「ダイナミックDNS」の設定で、「シリアル番号」「パスワード」「ホスト名」がiobb.netで登録した内容と一致していることを確認します。** **⑥（iobb.netでホスト名を取得している場合） INTERNETポートにつないでいるモデムに、ルーター機能が搭載されていないことを確認します。**

ネットワークゲームやサーバーを公開したい

対処

本製品設定画面【ファイアウォール】にて、ネットワークゲームの利用やサーバーを公開するために必要な特定ポート番号を開放する必要があります。以下の手順で本製品のポートの開放を行ってください。
(54ページもご覧ください。)

※ポートの開放の際には、あらかじめネットワークゲームやサーバーが使用する「ポート番号」と「プロトコル」を確認してください。
ゲームなどが使用するポート番号が分からない場合は、ゲームソフトメーカーへお問い合わせください。

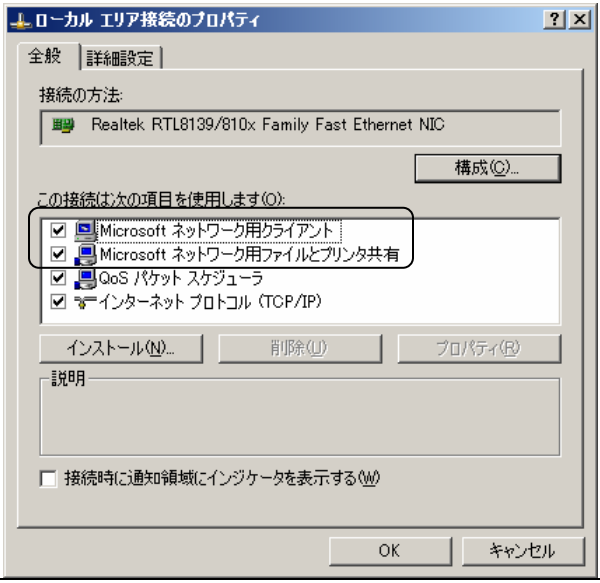
【ファイアウォールを利用してポートを開放する設定手順】

①本製品の設定画面を開きます。
②画面左側の[セキュリティ]→[ファイアウォール]をクリックします。
③[追加]ボタンをクリックします。
④名前を入力します。
⑤方向を選択します。
LANポートでポートの開放を行う場合は、[INTERNET -> LAN]
DMZポートでポートの開放を行う場合は、[INTERNET -> DMZ]
⑥送信元IPの[IPタイプ]に[Any]を選択します。
⑦宛先IPの[IPタイプ]に[Single address]を選択します。
⑧宛先IPの[開始IPアドレス]にポートを開放して外部からのアクセスを許可したいパソコンのローカルIPアドレスを入力します。
⑨サービスに開放したいポートに該当するサービスを選択します。
⑩処理に[forward]を選択します。
⑪画面下の[設定の保存]をクリックします。

以上で設定は完了です。

[マイネットワーク]を開いても、VPN接続が確認できない

対処１	しばらく時間を置いて再度お試しください。
対処２	[マイネットワーク]を右クリックして表示されるメニューから[プロパティ]をクリックします。 表示された画面の[Microsoft ネットワーク用クライアント]と[Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有]にチェックボックスがついていることを確認します。



仕様

●ハードウェア仕様

有線LAN規格	IEEE802.3(10BASE-T)/ IEEE802.3u(100BASE-TX)
インターフェイス	【LAN側】 ・スイッチングハブ搭載 ・10BASE-T/100BASE-TX（RJ-45）×4ポート（内1ポートはDMZ専用） ・MDI/MDI-X自動判別 ・10BASE-T/100BASE-TX自動判別 【INTERNET側】 ・10BASE-T/100BASE-TX（RJ-45）×1ポート ・MDI/MDI-X自動判別 ・10BASE-T/100BASE-TX自動判別
スイッチ	RESETスイッチ×1（設定初期化用）
DCジャックコネクタ	添付のACアダプター接続用× 1
EMI規格	VCCI ClassA
電源	DC12V（専用ACアダプターにより供給）
消費電流	最大 320mA
動作温度範囲	0℃～40℃
動作湿度範囲	10%～85%（結露しないこと）
保存温度範囲	-5℃～60℃
保存湿度範囲	5%～90%
外形寸法	約171(W)mm×148(D)mm×28(H)mm
質量	約600g

●本製品の初期値（出荷時設定）

項目		初期値
INTERNET側設定	**接続方法**	IPアドレス自動取得接続
	IPアドレス	IPアドレス自動取得
	ダイナミックDNS	無効
LAN側設定	**IPアドレス**	ETX-VR モデルA：192.168.0.1 ETX-VR モデルB：192.168.1.1
	サブネットマスク	255.255.255.0
	ホスト名	ETX-VR_xxxxxx （xxxxxxはユニークな数）
	ドメイン名	（設定なし）
	DHCPサーバー	有効 ETX-VR モデルAの場合 →開始IPアドレス：192.168.0.2 →終了IPアドレス：192.168.0.32 ETX-VR モデルBの場合 →開始IPアドレス：192.168.1.2 →終了IPアドレス：192.168.1.32

●機能仕様

■ルーター部	
ルーティング プロトコル	TCP/IP
設定プロトコル	HTTP(Webブラウザ設定) リモート設定可能
アドレス変換	NAT/NAPT（IPマスカレード）
IPセッション数	最大253セッション
ファイアウォール 機能	パケットフィルタリング、SPIによるDoS攻撃防御
ファイアウォール	各方向合わせて60エントリー
DMZ	あり
ログ	あり（Syslog転送あり）
ファームウェア アップデート	Webブラウザより可能
■INTERNET側ネットワーク部	
接続方式	常時接続、オンデマンド接続、手動接続(IPアドレス自動取得/固定設定接続、PPPoE認証接続)
IPアドレス取得 方法	PPPoEクライアント機能 DHCPクライアント機能 IPアドレス固定割当機能
対応プロトコル	TCP/IP
PPPoEセッション数	2セッション　※PPPoE認証接続モード時
■有線LAN側ネットワーク部	
IPアドレス自動割当（DHCP）	DHCPサーバー機能(最大253割当)
対応プロトコル	TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI

アフターサービス

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困った時には】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsなど」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
Newsなど

ファームウェアをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のファームウェアをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
ファームウェア

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
　　アイ・オー・データ第２ビル
　　株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3644**　東京…**03-3254-1144**
　　※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1．ご使用の弊社製品名
2．ご使用のパソコン本体の型番
3．ご使用のOSのバージョン
4．トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理について（つづき）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【ご注意】

1)本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。

2)本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。

3)本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。

4)お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。

5)弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

6)本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)

7)本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。

8)本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft,Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●その他、一般に会社名、サービス名、ソフト名、製品名は各社の商標または登録商標です。

ETX-VR 取扱説明書
2006.Mar.24　M-MANU200288-01
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町３丁目１０番地

Copyright (C) 2006 I-O DATA DEVICE,INC. All Rights Reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホ ー ム ペ ー ジ：http://www.iodata.jp/support/
●技術的なお問い合わせは専用サポートダイヤルへどうぞ●
金　沢／TEL.076-260-3644　FAX.076-260-3360
東　京／TEL.03-3254-1144　FAX.03-3254-9055
TEL受付時間／9:30～19:00 月曜日～金曜日（祝・祭日を除く）